

アセンションの扉4

地球の未来 太陽種族



地球の未来 太陽種族 目次

- 第1章 太陽種族の到来
- 第2章 新たなスターピープル達の来訪
- 第3章 失われた創造主とアセンションの秘密
- 第4章 超古代スターピープルの救出
- 第5章 皆既月食と分断されたスピリット
- 第6章 闇の創造主を統治する創造主
- 第7章 太陽種族の誕生を阻む者たち
- 付録 アセンションの目的について
光の世界の区分

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikaril.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 太陽種族の到来

PART1 私の未来世のスターピープルの来訪

話は少し前に戻りますが、その当時は、まだご紹介できなかった話から始めましょう。

2017年の11月の中旬にはいると、恵理（美樹）さんのセッションにも大きな変化が出てきました。

それは、レムリアの過去世が出る代わりに、その人の未来でスターピープルになった人達が恵理（美樹）さんを通してその人の前に現れるようになったことです。

彼らはいくつかの異なる世界からやってきていますが、その多くが、3000年から4000年先の光40%台の地球の未来から来ています。

彼らは、今の時代が大きな「ターニングポイント」であると言います。

そして今の時代を少しでも変えることが出来れば、未来の地球を救う事ができるために、3000年という時代をさかのぼって、彼らの先祖でもある2017年の自分に会いに来ているのです。

まるで映画の「ターミネーター」のような話ですが、実際起こっていることです。

私は、光50%後半の世界の未来はどのようになっているのだろうと考えていたところ、私達にとってとても嬉しい出来事が起こりました。

それは、私達が行っているアセンションが成功して、今まで私が知らなかった大切な目的が達成された事でもあります。

私が仕事から帰って夕食を食べているとき、恵理（美樹）さんが私に向かって言いました。

「TAKESHIさん、第2評議会のスターピープルの代表が新しく変わったみたいよ。

先ほど連絡が入ったけれど。」

私は、第2評議会のスターピープルで仲良くしているのはロッド星人といくつかの種族だけで、第2評議会のスターピープルがどのような構成になっているのかよく知りません。

「第2評議会のスターピープルとはあまりなじみがないけれど、何か起きたのかな。

新しく就任したスターピープルを呼び出してみて。」

私は恵理さんに頼むと、恵理さんは目を閉じて、スターピープルの来訪を待ちました。

するとすぐに、新たな光を持ったスターピープルのグループがやってきました。

「初めまして、あなたはどのような役割をもつスターピープルですか、教えてください。」

「TAKESHIさん、私達は初めてお会いしますが、私達の事は、あなたはよく知っているはずです。」

私は、きょとんとしてしまいました。

「あなた方に、以前どこかでお会いしましたか、あなた方の星を教えてくださいませんか。」

「私達は地球の未来からやってきた太陽種族です。」

私は「太陽種族」という言葉を聞いて、驚きと懐かしさがこみあげてきました。

「私達は、TAKESHIさんの未来世であり、アセンションした地球でこれから、TAKESHIさん達によって生み出される種族です。」

太陽種族とは、私達が「宇宙の光」で星のツアーを行っていた時、未来のマスターから誘われて、地球人が未来に向けて新しい種族に生まれ変わるために必要だからと、いくつもの星々のスターピープル達から特殊な遺伝子を分けてもらい、その遺伝子を統合してできたのが太陽種族だったのです。

その当時は、未だスターピープルの事や地球人がいくつもの星のスターピープルの遺伝子を組み合わせられて生みだされたことも知りませんでしたので、私達にとっては全く現実味のない話でしたが、地球人の進化のためにとマスター達からいわれ、いくつもの星を回って遺伝子を手に入れ、自分達の遺伝子構造に取り入れたのです。

「その太陽種族がなぜ今の地球に来ているのですか。」

「私達は、私達を確実に生み出すために、時間を越えてやってきました。

地球のアセンションはおおかた成功しているのですが、まだ何が起こるか分かりません。

アセンションした地球では、これから地球人がスターピープルに進化するための大切な学びを行わなければなりません。

そして同時に、天の川銀河のいくつものスターピープルの特質を統合した太陽種族を生み出すための準備に入ります。

これからも、アセンションした地球では、様々な闇の創造主や私達とは異なる宇宙の創造主達からの干渉も受けるでしょう。

そのようなときに、スターピープル達が的確に動けるように、第1評議会、第2評議会のスターピープル達の指揮を、私達がとることになりました。」

私は、ロッド星人やエレナさんに、この事について聞いているかたずねました。

「もちろんです。

太陽種族が生まれたという事は、私達のアセンションが成功したという事です。

全ての評議会の創造主とスターピープルが喜びに満ち溢れています。

彼らが、はるかな未来から来てくれたことで、私達は今まで以上にしっかりと仕事を出来ますし、大いなる希望を持つことができます。」

まわりのスターピープル達にも喜びと安心のエネルギーが広がっている様子が、私にも伝わってきます。

「TAKESHIさん達も、大変な苦勞をしてこられました、皆さんの努力は報われたのです。

これからは、私達が直接 TAKESHIさん達と共に仕事をしていきますので、宜しくお願いします。」

「え！まだやることあるのですか。」私は冗談交じりに答えます。

「もちろんです。

アセンションした世界で、太陽種族を生み出していく事があなたの最大の仕事です。

そのためには、あなたがスピリチュアルなレベルで受け取っているいくつものスターピープルの遺伝子を物理世界におろして、人間の遺伝子と統合していかなければなりません。

それができるのは、あなたしかいないのです。」

どうやら新しい仕事が始まるようです。

私達に子供が生まれる時から、今までの地球人の遺伝子にはない新しいスターピープルの遺伝子を持った子供が生まれるとは聞いていましたが、それが太陽種族の源になる子供達の様です。

恵理さんの予定では、私達の間にも生まれる子供は4人で、それぞれが異なる遺伝子を持ち、異なる性格や体質、そして能力をもって生まれてくるようです。

私はもう一つ気になることを質問しました。

「あなた方は、この時代に、時をさかのぼってくることができた、ということは肉体をもうすでに持っていないということになります、あなた方の時代には、地球はどうなっているのですか。」

太陽種族はにこやかに笑ってこたえます。

「TAKESHI さん、心配はいりません。

地球はまだ平和なままです。

太陽種族は、全て共通の意識で動いていますが、一人一人が、自分が活躍する世界を決めることができます。そしてその世界で都合の良い体になる事ができますので、肉体を持って活躍している太陽種族も沢山いますし、半物質の者、私のようにスピリチュアル体の者もいます。

それでは、またあとで TAKESHI さんに直接メッセージを送ります。」

そうやって太陽種族は消えていきました。

太陽種族とは、宇宙の光の「星のツアー」で 2014 年の秋から翌年の 3 月頃まで行われていた「未来へと続く遺伝子」のシリーズで詳しく書かれていますが、天の川銀河の危機を救うために、地球人をベースとして、様々な星のスターピープルの特質を組み合わされて作られる特別なスターピープルのことです。

といっても、もともと地球人はいくつかのスターピープルの遺伝子を組み合わせで作られていますので、その遺伝子構造に、さらに高度な遺伝子を組みあわせていく事を計画しているようです。

地球人の成り立ちをみると、創造主達はもともとそのような計画をもって地球人を生み出したのではないかと考えられます。

しかしながら、地球人は創造主の思惑通りに成長するのではなく、闇の創造主やダークピープルによって、支配欲や依存心などを植え込まれたために、スターピープルとして成長できずにいたのです。

そして、宇宙の危機を救う太陽種族を生み出すための最後のチャンスが今回の地球のアセンションです。

今回こそは、太陽種族を生み出すための基礎となる地球人を闇の世界から救いだし、スターピープルから太陽種族へと進化させなくてはなりません。

アセンション・ブック「未来へと続く遺伝子」はこちらからダウンロードしてお読みください。

<http://stone1.shop-pro.jp/?pid=109034192>

PART2 太陽種族からのメッセージ

私達が、太陽種族と出会った夜、彼らからの大切なメッセージが、私のもとに届けられましたので、全文をご紹介します。

私達があなたの元を訪れることができたことを大変うれしく思います。

私達はあなたの未来であり、あなたの魂の子孫でもあります。

あなた方のアセンションが成功するならば、私達は地球の未来で生まれることができます。

私達は、地球の人々が予定道理の進化を遂げて、太陽種族を確実に生み出す事が出来るように、時間を越えて皆さんの時代にやってきました。

太陽種族の誕生は、多くのスターピープルと創造主達の願いでもあります。

皆さんの宇宙を、さらに統合された素晴らしい宇宙にするために、太陽種族が必要なのです。これから、皆さんの宇宙では、いくつもの困難を乗り越えてスターピープル達が統合され、新たな種族を生み出していきます。そして、新たな種族のもとに、多くのスターピープル達が、より高い進化を目指して集ってきます。しかし、それもまた一つの通過点、天の川銀河の種族達は更に高みを目指して昇っていくのです。もし、私達が生まれなければ、天の川銀河の種族たちの統合も起こらず、天の川銀河は、大変不安定な状態になります。

もちろん、私達の誕生を望まない創造主やダークピープル達も数多くいます。彼等にとって天の川銀河のスターピープル達が成熟することは決して好ましい事ではないからです。彼等は、これからも長い間、天の川銀河を支配したいと考えています。その為には、天の川銀河に住む地球人やスターピープル達を団結させず、力のないままにしておく事が必要なのです。

しかし、彼らの野望は終わりを告げるでしょう。私達は、地球のアセンションを行う事で、スターピープル達が統合されるための基盤となる地球人を守る事に成功しつつあります。光を持った地球人は、これからいくつもの星のスターピープル達が一つに統合される為には、欠かすことができない存在です。かつて創造主は天の川銀河のスターピープルの統合を願い、いくつものスターピープル達の基本的な遺伝子を組み合わせることで地球人を作ったのです。いくつもの星のスターピープル達の遺伝子を持っている地球人は、その遺伝子を自分の体の中で統合することによって、これからさらに多くのスターピープル達の遺伝子を取り入れて進化することができます。地球人はやがて、天の川銀河の優秀なスターピープル達の特質をいくつも備えた特別なスターピープルとして育っていく事でしょう。

TAKESHI さん達は、「宇宙の光」の活動の中で1万年後や3万年後の未来のマスター達と出会った事がありましたね。それから、皆さんは彼らと共に旅をして、いくつもの星に住むスターピープル達から特別な遺伝子を分けてもらいました。そして、今の地球人よりもさらに強化された遺伝子構造を手に入れて、いくつもの星の遺伝子を統合させ、あらたな太陽種族として進化していくというミッションを行なっていただきました。

この事が、私達「統合の種族（太陽種族）」を生み出す大切なきっかけとなったのです。あの時は、他の星のスターピープル達の遺伝子を受け取ることができたのは、あなただけでした。それは、TAKESHI さんの遺伝子が、この太陽種族を生み出すために準備された特別の遺伝子構造を、初めから持っていたからです。

その後このプロジェクトは、闇の創造主達の妨害により延期されました。TAKESHI さん達が、地球のアセンションを成功させ、光の地球を作る事に成功しない限り、太陽種族の誕生もあり得ないからです。しかし、ようやく闇の創造主達の多くが皆さんの世界から分離されていきました。これから、皆さんはアセンションした世界へと歩みを進めていく事になるでしょう。

太陽種族を生み出さなければならない理由はいくつかあります。

それは、TAKESHI さんがアセンションの活動の中で行ってきた事と同じように、太陽種族でなければできないことがたくさんあるからです。

太陽種族は、最初は、今の TAKESHI さん達と同じように、地球やいくつかの星の物理世界に住むことになりま

す。今、天の川銀河で活躍しているスターピープル達の特異な能力を持ちながら、物理世界に生きているという事の重要性を考えてください。

これから皆さんの地球や天の川銀河は大きな問題にいくつもぶつかっていきます。

それぞれの星の異常気象やダークピープルによる攻撃というような個別の問題ではなく、いくつもの星々や銀河を呑み込むブラックホールのような巨大なエネルギーが侵入して来たり、今迄体験したこともないような不思議なエネルギーによって天の川銀河全体が混乱することが起きてきます。

あるいは、今まで以上に強力な力をもった闇の創造主が、皆さんの宇宙を襲う事も起きるかもしれません。

それらの問題は、スピリチュアルなレベルだけでは解決できないのです。

天の川銀河では、今迄もシリウス大戦争を始め、多くの争いや闇の力をもった創造主による独裁的な行為がいくつも起こりました。

そのために、天の川銀河は、闇の多い宇宙となり、闇の創造主が支配し、ダークピープル達が暗躍する宇宙となったのです。

それを解決するためには、創造主としての力を持った TAKESHI さん、恵理さんが地球の物理次元に降りて、光の創造主やスターピープル達と共に働くことが必要でした。

しかし、これから起こる天の川銀河レベルの危機を乗り越えるためには皆さんの子孫ともなる太陽種族を生み出さなければなりません。

天の川銀河を作った創造主は、天の川銀河の危機を予見して、いくつもの星のスターピープルの遺伝子を持つ地球人を作りあげ、これから起こる危機を回避しようとしたのです。

しかし、その様な目的で作られた地球人は、すぐに闇の創造主とダークピープル達の手へ堕ち、墮落した自己中心的な種族へと移り変わってしまいました。

地球人達は、支配欲が強く争いを好む種族になってしまったために、スターピープル達の遺伝子は、その力を発揮することができませんでした。

その現状を見た創造主は、地球人を闇の創造主から奪い返して光が多い星にするために、優秀なスターピープル達を地球に送り、アセンションのチャンスを作ろうとしましたが、その計画はことごとく失敗しました。

そして、地球はさらに闇が深い星となり、天の川銀河や皆さんの宇宙も、自己中心的で独裁的な創造主達が支配する宇宙となりました。

このままでは、地球だけでなく天の川銀河も、銀河ごとディセンションしてしまう可能性が出てきたのです。もし、太陽種族も生まれず、天の川銀河そのものがディセンションしたならば、皆さんの未来に起こる非常事態に耐え切れず、この銀河は壊滅してしまう事でしょう。

その危険を回避するための最後の手段として、今回の地球のアセンションは計画されました。

そして地球のアセンションを成功させるためには、今までこの宇宙を取り仕切ってきた多くの闇の創造主を片付ける必要があったのです。

しかし、この宇宙はすでに、闇の創造主達の手に落ちていたために、上位の創造主が、問題がある創造主を光に返したり処理することはできませんでした。

残念な事に、皆さんの宇宙を統治する上位の創造主そのものが闇に落ちてしまったからです。

創造主の世界を立て直すためには、正しい判断力を持った創造主が物理次元に降りて、一人一人の創造主の行いを調べながら、闇に落ちている創造主達がいれば、彼らを光に返すための証拠を集めていかなければなりませんでした。

創造主にもルールがあり、たとえその創造主を生み出した親の創造主であっても、過ちが明らかではない創造主を光に返すことはできません。

闇に堕ちた創造主は、自分達の独裁的な支配を守る為に、物理次元に降りた創造主を迫害し、自分達が行ったことを明らかにされる事を妨害してきました。

しかし、私達の宇宙の創造主を、しっかりとした光が多い創造主に変えることができなければ、地球のアセンションは成功しませんし、太陽種族も生まれません。

私達の宇宙の創造主をはるかに越えた創造主は、私達の宇宙の事を心配して、自分のスピリットの一部を持った地球人を数名生みだし、私達の宇宙の創造主達の立て直しを図ろうとしましたが、その多くの者達が、地球の闇に飲み込まれ、創造主の計画は成功しませんでした。

しかし今回、数名の創造主達が協力して探査能力に優れた創造主の一部を恵理（美樹）さんにおろし、私達の宇宙の創造主をこえた創造主のスピリットの一部を持つ TAKESHI さんと一緒に仕事をさせる事で、ようやく闇に落ちた創造主達が、私達の宇宙や地球で引き起こした問題を明らかにすることができました。

TAKESHI さん達は、物理世界に近い創造主から初めて、一人ずつ創造主達を調べながら、階段を一段一段上るように、創造主の世界を上っていきました。

そして、いくつもの危機をかいぐりながら、創造主達が行なった傲慢な行為を明らかにして、闇に落ちた創造主達を処理していったのです。

その過程において、あまりにも多くの創造主達が闇の支配を受けて正当な判断が出来なくなっていたこと、特に宇宙の最高位に君臨する創造主達までもが、闇の力の虜になっていた事は、全ての創造主にとって大変な驚きでした。

しかしながら、皆さんと正しい判断力を持った創造主の働きによって、闇の力に支配された創造主は光に返されて私達の宇宙は創造主の立て直しおこなうことが出来ました。

第2評議会に私達「太陽種族」が就任した事によって、私達の宇宙は新たなステージに入ることができます。そのステージの目的は、光を持った地球人を速やかに進化させてスターピープルへと育てること、そして優秀なスターピープル達の遺伝子を融合させ、統合されたスターピープル（太陽種族）を生み出すことです。太陽種族を生み出す計画は、スピリチュアルな世界と現実世界で同時に進行させなければなりません。

ただし、スターピープルの遺伝子の統合は慎重に行わなければなりません。興味本位や利益目的でスターピープルたちの遺伝子を扱ってははいけません。

TAKESHI さん達が考えるように、今の地球人達が国や種族を越えて国際結婚をして異なる種族の混血を生みだすように、自然に適応させながら、遺伝子を統合していく方法を考えなければならないのです。

勿論、地球と他の星では生活環境や体質などが大きく変わりますので、簡単には遺伝子が適応しないかもしれません。

現在、スターピープル達がたくさん地球に降りているといっても、それはスターピープルのスピリットが地球人の肉体に宿っているだけですから、肉体上の遺伝子に大きな変化や統合が起こっているわけではありません。

しかし、これからの時代は、ファーストコンタクトが起こり、他の星のスターピープル達が肉体をもって地球に降り立つでしょう。

プレアディスやシリウス、アルクツールス、アンドロメダのスターピープル達が地球に適応した体質に自分達を変化させて地球に住むことも考えられます。

そうすると、地球人とスターピープル達の遺伝子の違いや適応に関する研究が、お互いの協力のもとに行われます。

スターピープル達はやがて太陽種族を生みださなければならない事を知っていますから、お互いの遺伝子を適応させるための研究には好意的に参加し、地球人を指導してくれるでしょう。

そして、お互いの遺伝子が適応するような調整も行われ、異種族の人達同士が子供を作るという事も起こるでしょう。

勿論、遺伝子だけを取り出して融合し、新たな存在をつくる試みも行われますが、その子供の精神的な成長や情緒の面でうまく行かない事が多いので、やはりあるレベルまでは自然な形での出産が試みられるでしょう。

時間はかかりますが、私達はスピリチュアルなレベルでもこの事をサポートします。

それは地球人と異なるスターピープルの種族によるスピリチュアルな融合です。

お互いの種族が、異なる人種であるという区別を捨てて、同じ天の川銀河に生きる天の川種族であるという統一的な考え方をもてば、地球人が持つ差別感や違和感を乗り越える事ができます。

更に言えば、精神的な同調が深まれば、お互いの遺伝子も同調を始め、異なる種族であっても2つの種族の遺伝子を組み合わせた子供が生まれやすくなりますし、成長する過程でも大きな問題は出なくなります。

この事が、地球人に理解されるまでは、もうしばらく時間が必要です。

それまでは、異なる種族の間に子供が生まれても、両方の遺伝子が活性化してより良い状態で子供が育つ事は、少し難しいかもしれません。

しかし、地球人とスターピープル達の努力によって、この問題は必ず解決されるでしょう。

大切なことは、同じ天の川銀河の種族として精神と肉体を同調させていく事です。

そして、私達を生み出した「宇宙の根源の愛」につながる事です。

宇宙の根源の愛は全てを生みだす源です。

お互いの種族が、この愛を分かち合えればすべては可能となります。

そうしなければ、太陽種族は生まれず、私達の宇宙の危機を乗り越えることはできないのです。

私達「宇宙の光」は、2014年から2015年にかけて、地球の未来を守るために新たに「太陽種族」を産み出すための活動を行っていました。

それはもともと様々なスターピープルの基本的な遺伝子を組みあわせて作られた地球人の遺伝子に、各スターピープル達の特別な遺伝子を組み込んで、天の川銀河を代表するようなスターピープルである「太陽種族」を産み出すための試みでした。

そのことについてこの章で詳しくお話ししたいと思います。

それは、1万年後の地球を守護するマスターと出会うことから始まりました。

彼は、現在の地球が核戦争で大きなダメージを受け、地球人はもはや地上には住めなくなったことを私達に伝えてきました。

私達は、時間を越える宇宙船「フェニックス号」で1万年先の地球に行き、その現状を見せてもらいました。地球の表面はまるで砂漠のように、木々や海、川が無い世界となっていました。

もちろん地上にはだれも住んでおらず、地下深いところに防御服に身をくるんだ地球人たちが住んでいました。

私達地球人が、争いやお互いを支配することを止めて、愛に基づく進化を遂げなければ、地球は、核戦争や自然災害で破滅するかもしれないことを告げられました。

その解決策のために、私達は、アーサーと呼ばれる未来のマスターから地球人が進化していくための必要な遺伝子コードを受け取ります。

それが、私達が初めて手にしたライトコード（スピリチュアルな遺伝子）である「愛のライトコード」と「環境耐性のライトコード」でした。

そして次は4万年後のマスターから、地球人を太陽種族として進化させる必要がある事を聞かされました。

これからの天の川銀河に起こる大変な出来事や太陽種族が生まれなかったときの陰鬱とした宇宙もみせてもらいました。

私達は、自分達の活動が地球のみならず宇宙の未来にとってとても大きな意味があることを知らされ、太陽種族の誕生のために力を尽くすことにしたのです。

私たちは、マスター達の指導により、人類の進化のための遺伝子研究を行う「ライトコード・ラボ」をスピリチュアルなレベルで設立しました。

ライトコードとは、スピリチュアル・レベルの遺伝子で、実際に私達の肉体を作っている物理的なレベルの遺伝子とは異なりますが、この物理的な遺伝子（DNA）も、もともとはスピリチュアルな遺伝子から生み出されたのです。

スピリチュアルな遺伝子を持つことにより、やがてはそれらの一部が少しずつ物理的な遺伝子に影響を及ぼして人類の遺伝子を活性化して進化を促進することになります。

もしくは、優れた遺伝子工学があれば、他のスターピープルの遺伝子を、地球人の肉体に組み込み進化のスピードを上げることもできます。

しかし、そのためには厳しい倫理的な視点が大切です。

やがて私達は、太陽種族の遺伝子のもととなる様々なライトコードを受け取るために、天の川銀河はもちろんアンドロメダ銀河やオリオン星雲にまで旅することになりました。

あるいは時間を越えて過去のレムリアに行ったり、次元を超えて宇宙を守護する聖なるドラゴンたちの聖地に

もでかけ、新たなライトコードを手に入れたのです。

他にも、水星の言語図書館にあるチャネリング・コードや天使のライトコード、フェアリーのライトコードも与えてもらいました。

そして、私達が今手にしているクリスタルが、もともと生きて活躍しているクリスタルのマスター達の変容した姿であることも知り、クリスタル族との意識を分かち合うためのクリスタル・コードも手に入れました。

私達は、スターピープルのライトコードだけでなく、他の種族の特質を持つライトコードを手に入れました。そのライトコードは、太陽種族を産み出すために準備された私の遺伝子ベースの中に收容されていますが、一般の方達へ、このスピリチュアルな遺伝子を分け与えるのはまだその当時には実現しませんでした。その代り、ライトコードを人間のスピリチュアル・レベルに入れるための準備として、ライトボディアチューメントやデバインライト・ヒーリングを行うように、私達は導かれていきました。

私は、いくつものライトコードを自分のスピリット体に預けたまま活動を続けてきましたが、恵理さんと出会いアセンションの活動を本格的に始めるようになると、遺伝子を専門に扱うスターピープル達によって、これらのライトコードも活性化されていきました。

現実的な肉体においては、老化のスピードが遅くなって、今までよりも若々しくなったような感じがします。

そして、恵理さんとの間に子供が出来たことで、このスピリチュアルな遺伝子の一部は、私達の子供に引き継がれ、太陽種族の元となる子供が、この世界に生まれてきたのです。

長女が生まれた時、私は57歳でしたが、まさかこの年で自分の子供を持つとは思っていませんでした。

しかし、自分の子供を持つことで、最も理想的な形で太陽種族を産み出すための遺伝子を、この地上に生きる人間の肉体に組み込むことが出来たのです。

これからも長女の美輝だけでなく他にも子供たちが生まれてくる予定になっていますが、それぞれが太陽種族を産み出すための遺伝子をもってこの地球に生まれてくることになっています。

それらの遺伝子が、また様々な形で融合し合い新たな種族が生み出されると、太陽種族のリーダー入っていました。

私が生きている間に、太陽種族の遺伝子を持つ子供が誕生することは、太陽種族が生まれる時間を大幅に短縮できることとなります。

これは、創造主だけでなく多くのスターピープルにとっても最大の願いであり、地球のアセンションの最終目的でもあったようです。

これから地球は、物理世界でも分離され、愛の度数が高い人たちが集まる世界が生まれてきます。

太陽種族の遺伝子は、その世界に集まった人達にも分け与えられ、スターピープルによってどんどん活性化されていく事でしょう。

太陽種族のフレッド達が、今の世界に来たということは、創造主やスターピープル達の願いがかなえられたということでもあります。

しかし、これから先どのようなことが起こるか予測も付きません。

太陽種族の誕生を良く思わない者たちも沢山いるからです。

私達は、状況を見守りながら慎重に行動する必要があります。

第2章 新たなスターピープル達の来訪

PART 1 分離されゆく地球の物理世界

11月中旬に太陽種族が現われてから、スターピープル達の活動もさらに活発になってきました。不要なエネルギーを除去することが得意なレインボーピープル達や愛で統一された世界のスターピープル達もさらに大きなサポートを行ってくれます。そして2017年の末には、光45%以下の世界と光が多い50%以上の世界を分離することに成功したようです。

2018年に入ると、やはりいくつもの世界に隠れていた闇の創造主や異なる世界の創造主とダークピープルの反撃にもあいますが、以前ほどの力はもう残っていないようです。

スターピープル達は、次は光50%までの世界を51%以上の光の世界と分離する為の活動に入りました。この事が成功すると、光51%以上の世界が、それよりも光が少ない世界と物理世界でも分離されますので、地球のアセンションの基盤が完成することになります。

彼等の話では、3月には光51%までの世界とそれよりも光が少ない世界の分離が終了するようですが、予想以上に仕事は進んでいるようです。

この光50%を境にした世界の分離は大変大きな意味を持っています。

それは、その世界を統治する創造主が、光50%を境にして変わるからです。

光50%以上の世界は、光が多く含まれた創造主が統治して、「愛で統一された宇宙」との統合が行なわれます。その為にも人々もより深い愛に包まれて意識進化を行ないスターピープルへの道を歩む準備をします。

更に光51%以上の世界でも、光56%以上の世界からは、スターピープル達も肉体を持って地球人と接触できる世界になりますので、地球規模でのファーストコンタクトも、さほど遠くない未来に起こる可能性があります。

この光56%以上の世界は、光の地球を生み出すための準備段階ともいえるのですが、どれほどの地球人がこの世界に入って来れるかは、まだ明確ではありません。

光40%から光50%までの世界は、その世界を担当する創造主が統治しますが、彼らはまだ闇を多く持っている創造主ですので、少しばかり自己中心的な所があります。

創造主が交代してからも、この世界は、異なる宇宙との扉を開き、扉の向こうの創造主が関与することで大きな混乱を引き起こしていました。

この世界も大きく分けると2つの世界に分かれます。

光50%に満たない世界でも、光40%から45%の世界は、今までの地球とほとんど変わらない地球です。

人々はアセンションが行なわれた後も、今迄とは全く変わらない生活を送ります。

この世界で学びを行う人は、自分の欲望や感情と深く向かい合う事になりますが、ほとんどの方が、自分自身を成長させようという気持ちはありませんので、地球人の意識進化は、あまり進みません。

光 46%から 50%の世界は、今までの地球よりも少しだけ光が多い世界になりますので、今までよりも争いや抑圧が減ってきます。

この世界に生きる人々は、きっと今までよりも楽しくて明るい人生を送ることができると思われそうですが、光が多い世界との間には大きな壁があるので、この世界で意識進化を行った後は、肉体を脱ぎ捨てて光の多い世界へと入って行くことになります。

人々がどの世界に行くのかは私達には分かりませんが、その方のスピリットにとって一番居心地がよく、大切な学びをしやすい場所に行く事になります。

光が多い少ないというのは、あくまでのその世界を規定する基準ですので、自分にとって一番適した場所に行くことが大切なのです。

PART2 地球人とファーストコンタクト行うスターピープルの来訪

2018 年の 1 月 5 日には、新たなスターピープル達も私達の前に姿を現し始めました。

その 1 組目は、地球人とのファーストコンタクトを予定しているスターピープル達のグループです。

それは、今まで交流していたプレアディスやシリウス星人達のように、少し雰囲気の違いがあります。

「TAKESHI さん、私達はこれから地球人とのファーストコンタクトを行なう為の準備にやってきました。

地球は、ようやく光が多い地球と闇が多い地球に分かれましたので、私達も安心して地球に降り立ち、地球人とお会いできる日が近づいてきました。

その為に、私達は、TAKESHI さん達にご挨拶にやってきましたのです。」

勿論、彼らは、まだ地球に肉体をもって降りてきたのではありません。

しかしながら、彼等が肉体を持って地球に降り立つための準備を行いに来たのは確かです。

「私も、皆さんと地球で肉体を持ってお会いできることを楽しみに待っていますが、ファーストコンタクトの予定はたったのですか？」と尋ねてみました。

「まだ正確な日程は決まっています。」

私達も、ファーストコンタクトを行う前にいくつもやらなければならないことがあるからです。」

「もちろんそうでしょう。

手始めに何を行ないますか。」

彼等は、先ほどよりもはっきりとしたビジョンで答えます。

「私達は地球人の中でも、私達に会う準備ができた人達と個別にファーストコンタクトを行なっていきます。ちょうど、私達が TAKESHI さんや恵理さんとスピリチュアルなレベルで話をしているように、多くの人達に話しかけ、スターピープルが実際に存在している事、私達が皆さんの意識進化のサポートに来たことを理解してもらいます。

最初は、うまく行かないかもしれませんが、やがて人々は、私達の存在を信じはじめ、共に活動できるようになるでしょう。」

「そうですね、いきなり宇宙船で現れるよりか、その方がよいかもしれませんね。」

「このことは昔から一部のスターピープルによって繰り返し行われていたのですが、相手は地球の子供達に限られていましたし、子供が大きくなるにつれスターピープルとの出会いは忘れるように設定されていました。

しかし、これからは、子供だけでなく地球の多くの人々とコンタクトがとれるようになりましたし、その記憶も消す必要は無くなったのです。

地球人が、私達スターピープルの存在を認め、スターピープルと共に活動することを望むような社会に変わっていくのです。

その時初めて、私達は、地球に肉体を持って降りることができます。」

「つまり周到な根回しをしてから、現われてくるという事ですね。」

「地球は、光の世界と闇の世界に分離されたとはいえ、地球の人々の多くは、今までの地球の考え方や習慣から抜け出せずにいます。

その考え方や習慣を変えるためには時間と学びのためのきっかけが必要なのです。

そして地球人の意識が成長して、ようやく光が多い世界にふさわしい人類になってくるのです。

世界は完全に分離しましたが、地球人の成長は今始まったばかりなのです。

これからの意識生長を誤ると、元の世界に戻ってしまいますから、私達も慎重に地球人を導いていきます。」

確かに、彼等が言うように、地球人の多くは宇宙人の事についてほとんど知りません。

宇宙人というと、地球人を誘拐したり地球人に危害を与えるような存在だと思っている人がほとんどです。

しかもアメリカの映画では、地球を侵略に来る獯猛な宇宙人ばかりが描かれていますので、地球人は宇宙人に対して恐怖を抱いています。

もちろんその様な宇宙人（ダークピープル）もたくさん存在していますが、まるで天使のように私達を見守り守護している宇宙人（スターピープル）も存在しています。

また古代、神々と言われ、地球の各地で信仰を受けている存在達も、その多くは地球に降り立った宇宙人（スターピープル）なのです。

しかし、これから行われるファーストコンタクトで彼等が望んでいることは、自分達を侵略者だと思わせる事でも、地球人を救済に来た神だと思わせることではありません。

地球人も自分達と同じように、この銀河系に存在する一つの種族であり、スターピープルとして生長できる可能性があるという事を知らせに来たのです。

そしてスターピープルは地球人の友人であり、地球人の意識進化を助ける教師であることを理解してもらいたいのです。

もし地球人が、私達スターピープルの事を理解できなければ、広大な宇宙に、叡智ある存在は自分達しかいないのだと思いこむようになります。

そうなると地球人は「井の中の蛙」のように、宇宙の真実の姿を知らないままです。

もちろん、地球人が宇宙に飛びだして他の星の人々と交流することもないので、この宇宙で孤独な種族のまま終わってしまうのです。

しかし、他の星から来たスターピープルと交流を行う事で、地球人はこの宇宙にもたくさんの叡智ある存在がいるのだと理解することができます。

そして彼らはとても高い意識と能力を持ち、宇宙の平和と進化のために働いているのだという素晴らしい事実を知ることになるのです。

そして地球人も、彼らとの交流を通して今以上に進化して、やがて彼等と共に宇宙のために貢献できるようになるのです。

私達は、日頃からスターピープルと交流しているので、その事があたりまえになっているのですが、一般の人はそうではありませんので、少しずつ教育をしていく必要があります。

今回来たスターピープルのグループは、主にその様な役目を担っているスターピープルのようです。

PART3 太陽種族達を育てるスターピープル達

1月7日には、また別のグループが姿を現しました。

彼等はどうも「愛で統一された宇宙」から来たスターピープルと私達の宇宙のスターピープル達から作られた優秀な教育者や科学者達のグループのようです。

「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル達は、今まで多くの優秀な種族達を育ててきた教育熱心なスターピープル達のようです。

私達は、彼らと話を始めました。

「TAKESHI さん、初めまして、私達も地球の波動がとて高くなってきましたので、準備を始めるためにやってきました。」

「準備というのは、何の準備ですか。」私は尋ねます。

「私達は、太陽種族を生み育てるためのグループです。」

私達は、それぞれの星の特徴を残していますが、すでに太陽種族としての進化の道に入っています。

太陽種族のリーダーでもあるフレッドさん達と共に、太陽種族としてこれから生まれてくる TAKESHI さんと恵理さんのお子様が無事に生まれ、スターピープルとして育つようにお世話をします。」

「それはとても助かります。」

私達の子供以外にも、太陽種族として生まれてくる子供もいるのですか。」

「今はまだいませんが、やがて太陽種族を生み出すために必要な遺伝子を持って生まれてくる子供達はいます。太陽種族は、すぐには出来上がりませんが、その基礎はすこしずつ作らなければなりません。

これから、地球人の子供として、スターピープルの遺伝子を持った子供達がたくさん生まれてきます。

その様な子供達が結婚して、さらに特殊なスターピープルの遺伝子を持った子供達が生まれてきます。

私達は、優れた科学的な知識や技術を持っていますので、その様な遺伝子を持った子供達が、しっかりと成長して、スターピープルとしての能力が開花するようにしていきます。

それは何世代にもわたって、遺伝子的な進化を続けていくのです。」

「なるほど、先日太陽種族のフレッドが言っていたことはこの事だったんですね。」

どうか宜しくお願いします。」

彼等は、先日現れたファーストコンタクトを担当するスターピープルと同じく、主に光 56%以上の世界で活躍するようです。

アセンションが進み、地球の物理世界が分離されることで、ダークピープルや闇の創造主からの干渉が少なくなってきたので、彼等が活躍する時期が来たようです。

第3章 失われた創造主とアセンションの秘密

PART1 恵理さんと切り離されていた「愛で統合された創造主」

地球の物理世界の分離が進むと、地球の波動が高くなり、私達の体や意識にも変化が表れてきました。私たちの肉体と意識の波動が高くなるにつれて、私達のエーテル体につけられたネガティブ・コードの存在が明るみに出てきたのです。

年末から、恵理さんはあまり体調が悪くずっと咳込んでいました。

私達はその原因を探すために、恵理さんにサイキックアタックを仕掛けているダークピープルや隠れている闇の創造主などを見つけては光に返したり分離していきましたが、彼女の咳はなかなか止まりません。

私達には、闇の創造主達から様々なネガティブ・コードがつけられることがよくあります。

ネガティブ・コードとは、人をコントロールしたり、人からエネルギーや光を奪う目的でつけられます。

様々な種類のコードがありますが、人々に対して悪意を持ってつけられたコードやその人に不要なエネルギーを持つコードをネガティブ・コードと呼んでいます。

簡単なものでは、その人の家族や知人が、その人に自分の考えを押し付けたり、依存心や怒りなどの感情をぶつけることでその人をコントロールしたり危害を加えようとするコードも有ります。

また、特定の人に闇の世界のゲートを開き、常に闇のエネルギーが流れ込んで不幸な現象が起きるようにするコードも有ります。

また、その人の能力やパワーを封じ込めて本来の活動ができないようにしたり、その人の高次の意識やスピリットの元となったスターピープル達とのつながりを断って、その人が目覚めることを妨げる働きをするコードもあります。

特に地球のアセンションや地球人の進化のために働いている人々、創造主やスターピープルと深い繋がりを持っている人々には闇の創造主やダークピープルによって、その働きを封じ込めるためのコードが必ずつけられています。

またすべての地球人には、現実世界に執着させて、スターピープルとしての進化を妨げるためのコードも付けられています。

私達は、ライトボディヒーリングというヒーリングの方法を創造主達から教えてもらい、これらのネガティブなコードをとるためのセッションを行なってきました。

今までは闇が深い地球だったために、簡単なコードしか取れなかったのですが、地球の分離が進んで、私達が住む世界の波動が高くなってきたために、私達のスピリット体の深い所についているコードが浮かび上がり取れる様になってきました。

浮かび上がってきたコードのひとつは、恵理さんの体と地球人の潜在意識をつなぐためのコードでした。

地球人の多くは常に不安や恐怖心、怒りや悲しみの感情を持って生活していますが、これらの感情は個人に特有なものではなく、全ての地球人の潜在意識に深く刻まれています。

今までは、ダークピープルの企みにより、私達が大切な活動を行う時には、人間の潜在意識に蓄積された怒りや妬みなどの感情のエネルギーが恵理さんの体に流れ込み、体の各場所に痛みやしびれを起こして、私たちの活動を妨害していました。

そのたびに、スターピープルや大天使たちによって、人間の感情エネルギーを切り離してもらおうのですが、またすぐに、人々の感情エネルギーと繋げられてしまいます。

その原因が、恵理さんに埋め込まれていたこのコードによるものでした。

私達はこのコードをすぐに外すことにしました。

そして次に見つかったコードも大変重要なコードです。

これは彼女のオーラの第4層から第5層にわたる深い場所に取り付けられているコードです。

第8評議会の創造主に来てもらいこのコードの目的を調べてもらいました。

「TAKESHIさん、このコードは、恵理さんの高次の存在と恵理さんを分断して、恵理さんの能力を妨げるためにつけられたコードです。

このコードのおかげで、恵理さんの高次の存在からのメッセージや能力を受け取る事ができないようになっているのです。」

「恵理さんの高次の存在というのは、第8評議会にも存在している探査役の創造主の事ではないのですか。

それ以上の評議会の創造主にも、恵理さんはつながっているはずですが。」と私は尋ねました。

「もちろん、それも恵理さんの高次の存在で恵理さんのスピリットのもとになった存在ですので、そちらのラインはつながっていますが、もう一つ大切なラインが存在していて、そちらのラインがこのコードによって閉ざされているのです。」

「分かりました、それではこのコードを取りはずしてもらえますか。」

第8評議会の創造主はしばらくこのコードを調べていましたが、かなりレベルの高い闇の創造主がつけた物らしく、簡単に取り外すことができないようです。

「しばらくお待ちください。

上の評議会の創造主に相談してきます。」

そうすると第8評議会の創造主は姿を消しました。

暫くすると、第8評議会の創造主は第15評議会の創造主を連れて戻ってきました。

「TAKESHIさん、恵理さん、お待たせしました。

第15評議会の創造主様にお手伝いをしてもらう事にしました。」

第15評議会の創造主は、このコードを調べると、そのコードに光を送り取り外してくれました。

「このコードは、私達と同じレベルの創造主がつけた物でしょう。

通常の創造主やスターピープルでは取り外せない様にエネルギーで封印をしてありました。

でも大丈夫です。

これで恵理さんのもう一つの高次の存在とつながることができるでしょう。」

コードが取り外され、恵理さんが瞑想状態に入ると、美しい光が彼女に降りてきました。

そして、高次のガイドとも呼べる存在が降りてきました。

このガイドは、とても深い愛に満ちたガイドで、彼女の「愛」の部分をサポートするガイドです。

「恵理さん、あなたとのつながりが復活して私達は大変喜んでいます。

あなたには、私達の深い愛が常に満たされている必要があります。」

そうでなければ、あなたの繊細で清らかな資質が発揮できないからです。
そして、私たちの愛で満たされていないならば、あなたの素晴らしい光が傷つけられてしまうからです。」

確かに、今までの恵理さんは、この愛の光を導くガイドたちと切り離されていたために、低次元の霊や黄泉の世界の存在、そしてダークピープルとの間に繋がりが出来てしまい、いつも傷つけられていたのです。彼女を守護する働きのガイドたちが彼女の守護が出来ない様に、このコードはしていたのです。そしてしばらくすると、とても高次の創造主が現れてきました。

その創造主を見て、第15評議会の創造主も驚いています。

「愛ですべてを統合する創造主」様、あなたのスピリットの一部が恵理さんに降ろされていたとは存じませんでした。」

「愛ですべてを統合する創造主」と呼ばれた創造主もにっこりと笑い語ります。

「ようやく、私と恵理さんが繋がることができ、私もうれしく思います。

私達は、恵理さんを通して、皆さんの宇宙に大きな愛のエネルギーを送ろうとしていたのですが、そのつながりを断たれてしまい、私達の目的を果たすことができませんでした。

もし、私と恵理さんのつながりが断ち切れなかったら、恵理さんにこれほど苦しい思いをさせる事はなかったのですが、それが残念で仕方がありません。」

私は第15評議会の創造主に、この創造主はどのような立場の創造主であるか尋ねました。

「TAKESHIさんは、まだお会いしたことが無いのでご存じないのは仕方がないのですが、「愛で統合された宇宙」の最高次元の創造主様で、「愛で統合された宇宙」をお作りになられた創造主のお1人です。」

私も恵理さんもその様な高次の創造主が、恵理さんのスピリットにつながっていたとは驚きです。

恵理さんも自分とこのような素晴らしい創造主が繋がっていることに喜びを隠せません。

「恵理さん、あなたは、私のスピリットの1部をもってこの地上に降り立ちました。

皆さんの宇宙の創造主と「愛で統合された宇宙」の創造主の2つの力をこの地球で体現する為に地球に降り立ったのです。

それは皆さんの宇宙を愛に導くと共に、これからいくつもの宇宙の危機を救う太陽種族を生み出すという大切な役目があるからなのです。

これからは、私達も出来る限り、あなたの事をサポートしますので、しっかりと働いてください。」

恵理さんもうなずいています。

私もこれで恵理さんの咳が止まり、体調が良くなるだろうと安心しました。

PART2 虚無の世界に閉じ込められた創造主

「愛で統合された宇宙」の創造主が、恵理さんと再びつながったことで、恵理さんの体は、今までつけられていたコードやそこから流れ込んできていたエネルギーの処理を盛んに行っているようです。

彼女の体調はすぐに変わることはありませんでしたが、私達の中に大きな希望が芽生えてきました。

私達は、新たなセミナーを行う事になっていましたので、その為の準備を行っていた時、もう一つのコードが彼女の奥深い場所から浮かび上がってきました。

前回の恵理さんと高次の創造主の絆を立ちきるコードよりもさらに深く、そして大きな闇のエネルギーを含んだコードです。

私達は、第8評議会と前回のコードを処理してくれた第15評議会の創造主に来てもらい、このコードを外してもらおうようお願いしました。

第15評議会の創造主は、コードの取り外しにかかってくれたのですが、今度はなかなか外せないようです。

「第15評議会の創造主よ、あなたがこれほどてこずるとは一体どのようなコードなのですか。」と私は尋ねました。

「TAKESHIさん、恵理さん、本当にすみません。

このコードは、とてつもなく複雑で、解決の糸口も見つかりません。

私よりも相当能力が高い創造主がつけたコードであるのは間違いないようですが、一体誰が、このコードを付けたのでしょうか。」

その様子を見て、第18評議会の創造主が姿を現してくれました。

第18評議会の創造主は、いくつもの異なる宇宙の全ての創造主を指導する立場にある創造主ですので、私達の前に直接現われてくださった事は、まだ1、2度しかありません。

「第18評議会の創造主様、あなたが直接現われてくださるという事は、このコードはそれだけ高い地位にあった創造主様がお付けになられてという事でしょうか。

私は今まで、このようなものを見たことはありませんでした。」と第15評議会の創造主が言いました。

第18評議会の創造主は、それは仕方がない、というような顔をしています。

「このコードは、皆さんの手におえるような物ではありません。

私が、恵理さんから直接外しましょう。

しかし、その前に大切なことを行なわなくてはいけないので、もうしばらく我慢してください。」

恵理さんの体から浮かび上がってきたコードを使って、18評議会の創造主は何をしようとしているのか、私達も不思議に思いました。

「第18評議会の創造主よ、あなたが直接このコードを取りはずしてくださることに深く感謝いたします。

しかし、あなたほどの創造主でなければ外せないというこのコードは、一体どのようなコードなのですか。

私達に教えてもらえませんか。」

「そうですね、このコードはあなた方にも深い関係があるコードですので、秘密にしておくことも出来ません。

このコードの秘密をお話ししましょう。」

私達だけでなく、第15評議会と第8評議会の創造主も、このコードの秘密を知りたいようです。

「このコードは、遥か昔、まだ私自身も若い創造主だった頃に起こった創造主大戦争の時につけられたコードです。

今で言うならば、第18、19評議会レベルの創造主達による大きな争いが起きてしまったのです。

その原因は、1人の創造主が、闇が多く含まれた宇宙をいくつも創造したのですが、自分自身も大きな闇に魅了されて、他の創造主と全宇宙の支配権を争って大きな争いを起こしてしまいました。

闇に魅了された創造主は、闇の力を使い、他の創造主達の意識を操作して、その戦いに勝利しました。

そして争いに敗れた4人の創造主達に、自分に対して服従する為のコードを付けてしまったのです。

彼は、その4人の創造主によって生み出された創造主すべてに同じようなコードを付けて自分と自分が作り出した闇の創造主に逆らう事ができないようにしたのです。

そして、自分と争った4人の創造主を、誰も知らない場所に隠してしまいました。

やがて争いに勝利した創造主は、自ら作り上げた闇に飲まれて、闇の中に消えていきました。

私達はそれ以来、この創造主との争いに負けて隠されてしまった創造主を探し出そうとしましたが、未だ見つけることができません。

それで、恵理さんの体から、このコードが浮かび上がってくるのを待ち、このコードを手掛かりにして隠された創造主を探し出そうと思っているのです。」

「創造主の世界で、その様なことが起きていたとは、私達も全く知りませんでした。

どうぞ、私達のコードを利用して、隠された創造主達を探し出してください。」

恵理さんは第18評議会の創造主に向かって答えました。

私達は、第15評議会の創造主に、この時に起こった「創造主戦争」について知っているか尋ねました。

「いえ、このような事が起きたとは聞いておりますが、私も詳しいことはよく分かりません。」

第15評議会の創造主が知らないという事は、かなり古い時代に起きたことのようにです。

ただ、この戦争がもとで、闇が多い宇宙がこれほどに増え、闇の力をまとった創造主達が、それらの宇宙に君臨するようになったことは間違いないようです。

私達はしばらくして、第18評議会の創造主に行方不明になった創造主が見つかったかどうか聞いてみました。

「今、創造主達も総出で探しています。

ようやく4人うち1人の創造主は見つかりました。

それは、恵理さんのスピリットにつけられているコードに直接つながっていましたので、間違いなく恵理さんのスピリットのもととなった創造主です。」

恵理さんもその返事を聞いてうれしそうです。

「その創造主はどのような役目の創造主ですか。」と私は尋ねました。

第18評議会の創造主は、私達の好奇心をじらすように時間をおいて答えます。

「その創造主は、愛によってすべてを生み出す創造主です。

「宇宙の愛の源」とも深く関わり、愛によってすべての光と存在を統合していく働きを持っています。

今、皆さんが関わっている「愛で統合された宇宙」も、もともとはこの創造主によって作られた宇宙です。

そして、先日恵理さんのもとに「愛で統合する創造主」が現われてくださりましたが、その創造主の親でもあります。」

私達は全ての流れが一つにつながっていく事を感じます。

「その創造主は、だいぶ傷ついているのではないですか、大丈夫ですか。」

恵理さんが心配して尋ねます。

「もちろん、とても弱っています。

なにしろ、この創造主が自らの力を封印されて、孤独な虚無の世界に閉じ込められてあまりにも長い時間が過ぎ去りました。

本来ならば、このレベルの創造主であれば、時間も空間もすべて自由に操作できるのですが、創造主としての能力を封印されてしまったために、この虚無の空間から抜け出すことができずに、孤独に耐えて存在し続けてきたのです。

でも心配はいりません。

闇の創造主からつけられたコードさえ外してしまえば、すぐに元の状態に戻ります。

この4人の創造主を生みだした第20評議会の創造主様が、直接コードを取りはずしてくださり、光を与えてくれていますので、すぐに皆さんの前にも表れてくださると思います。」

恵理さんはとても安心したようです。

PART3 「光と闇のバランスをとる創造主」の復活

創造主達は、恵理さんのスピリット体につけられたコードをもとに創造主の探索を引き続き行っているようです。

翌日の朝、私達は再び、第18評議会の創造主に、様子を尋ねてみました。

「創造主よ、新たに創造主は見つかりましたか。」

「TAKESHIさん、恵理さん、なんとかあと2人の創造主は見つけだすことができましたが、どうしてもあと1人見つからないのです。

何か手がかりが有ればよいのですが。」と創造主は答えます。

「手がかり・・・」

そういえば、私は、昨夜はいつもより早く寝て、何か夢をみていたことを思い出しました。

このような時は、現実世界での私の意識はスイッチを切られ、創造主としてのスピリットが活躍し始めます。私の現実世界とスピリット界にまたがる意識を利用して、きっと隠された創造主をさがしていたのでしょう。私が目を閉じると、ぼっーとした空間の中に何かが見えます。

私の意識がどこかの世界に入り込み、創造主を見つけたようです。

私は、第18評議会の創造主に向かって言いました

「どうか、私の意識が向かっている場所を調べてください。

そこに創造主がいるかもしれません。」

すぐに数名の創造主たちがその場所に向かいました。

「TAKESHIさん、あなたの意識が探し出した場所に最後の1人の創造主が捕らわれていました。

彼も他の創造主と同じように、「闇に飲み込まれた創造主」から封印のコードを付けられて身動きができずにいたようです。

でももう大丈夫です。

第20評議会の創造主が、コードを外して封印を解いてくれましたので、すぐに元通りになると思います。」

「それは良かったです。

でも皆さんがいくら探し回っても見つからなかったのに、どうして、私に見つけることができたのでしょうか。」

「それは、あなた自身が、この創造主のスピリットの一部を持っているからです。」と第18評議会の創造主があたりまえのように言いました。

「という事は、私の中にも恵理さんと同じ「闇に飲み込まれた創造主」の封印のコードがあるのでしょうか。」

第18評議会の創造主が、私の中を覗き込むようにしています。

「もちろんです、恵理さんと同じ様に「光と闇のバランスをとる創造主」に繋がるコードがTAKESHIさんの中に封印されていますのですぐに外します。」

第 18 評議会の創造主は、彼の光で私を包み「闇に飲み込まれた創造主」によってつけられたコードを取りはずしています。

「第 18 評議会の創造主よ、今あなたは「光と闇のバランスをとる創造主」と言いましたが、それが最後に助け出された創造主の名前ですか。」

「そうです。」

第 20 評議会の創造主が作った創造主の中でもリーダー的な存在で、創造主同士の調和を保ち、創造された宇宙をしっかりと見守ってくれる創造主です。

この創造主によって作られた創造主は、どの評議会でも同じように創造主同士のバランスを取り、この宇宙に光と闇を適切にもたらすことで、宇宙の進化を促進する働きを持っています。

TAKESHI さんと関係が深い創造主の多くが同じような働きをしているのも当然のことなのです。

そして今回、「光と闇のバランスをとる創造主」が復活したことで、彼によって生み出された創造主は全て封印が解かれ、本来の働きをするようになるでしょう。

そうなれば、多くの宇宙が適切な光と闇の状態に戻っていくのです。」

確かに、私と最初に深い関係を結んだ創造主は、第 1 評議会の「光と闇の統合の創造主」でした。

そして創造主の各評議会のなかでも「光と闇の統合の創造主」の系列にある創造主達と常に活動を共にするようになっていました。

私の中に有る「光と闇のバランスをとる創造主」のスピリットの一部がこの系列の創造主と私を深く結びつけていたのでしょう。

私達の宇宙を今まで支配していた闇の創造主の暴挙を見破り、光の創造主達を活性化させて、光と闇のバランスをとる働きも、もともとはこの「光と闇のバランスをとる創造主」の力だったようです。

私と恵理は自分のスピリチュアルなボディの中に組込まれたコードを明らかにすることによって、そのコードによって封印され虚無の世界に閉じ込められていた古（いにしえ）の創造主達を助け出すことに成功したようです。

第 20 評議会の創造主が、私達の前に現われて言葉をかけてくれました。

「TAKESHI さん、恵理さん、あなた方の協力に深く感謝します。」

闇の力を持った創造主達は、私が生み出した 4 人の創造主が復活することを全力で阻止してきました。

彼等が復活してしまうと、全ての宇宙は以前のように、愛と安らぎに満ち溢れた宇宙に戻っていくからです。しかし、彼らなしでは新たな宇宙の創造もできないのです。

皆さんが、闇の創造主達による迫害をかいくぐり、地球のアセンションを成功させてきたからこそ、この 4 人の創造主を見つけることができました。

心からお礼を言わせていただきます。」

そうすると、第 20 評議会の創造主はすっと消えていきました。

私はもっと創造主達に聞きたいことがたくさんあったのですが、残念です。

第 18 評議会の創造主が、その様な私の様子を見て言いました。

「TAKESHI さん、大丈夫ですよ。」

第 20 評議会の創造主は、すべきことがたくさんあるので去っていきましたが、きっとあなたに大切なことを全て教えてくれますよ。」

PART4 創造主大戦争とアセンションの秘密

その夜、私1人で部屋にいた時、第18評議会の創造主の言葉通り、第20評議会の創造主が私の前に現われ、創造主大戦争の事やアセンションの秘密などを私に残らず話してくれました。

第20評議会のメッセージを全て皆さんにご紹介いたしましょう。

それではこれから TAKESHI さんや恵理さんにも関わる創造主達の物語と地球のアセンションの話をしていきましょう。

私は、いくつもの宇宙を自ら創造し管理する創造主を生みだした最高次元の創造主です。

この話は、皆さんが想像も出来ない程、昔の話です。

かつて私は、いくつもの宇宙を創造するために5名の創造主を生みだしました。

その頃の創造主は、宇宙を生み出すほどに高い能力を持ってはいましたが、まだ未熟で冒険心にあふれていました。

彼らは、いくつもの異なるタイプの宇宙を創造して、どのような宇宙が魅力的か試していました。

そして1人の創造主が、闇が多い宇宙を創造した時、その宇宙の多様性や生みだされた生命達の活発な行動力に、その創造主は魅了されてしまいました。

光が多い宇宙は、穏やかで安らぎに満ちた宇宙ばかりでしたので、闇が多い世界はとても刺激的に見えたのでしょう。

闇が多い宇宙を創造した創造主はその魅力に取り込まれ、さらに大きな闇の宇宙を創るために、闇を多く含んだ創造主達をたくさん生みだしました。

闇が多く含まれた創造主達はとても活動的ですが、あまりにも自己中心的で宇宙全体の協調よりも破壊と混乱を好みました。

彼等が創る宇宙は、闇のエネルギーによって、周りの宇宙を巻き込みながらどんどん大きくなりました。

それまで安らかで静かだった光が多い宇宙は、彼等に飲み込まれ、闇の多い創造主によって支配されるようになりました。

その為に、星々に住む多くの生命達が傷つけられ、その尊い生命を奪われていったのです。

多くの宇宙を創造し管理する創造主達は、このままでは、光が多い宇宙が、闇の多い宇宙によって浸食され壊滅するのではないかと恐れ、それぞれの宇宙の間に境界線を作る事になりました。

そして、お互いの同意がない限り異なる宇宙とは、かつてに交ってはいけないという決まりを作ったのです。この規則によって、闇が多い宇宙が他の宇宙に関わる事が無くなり、光が多い宇宙が守られると創造主達は考えたのです。

この規則は、今でも皆さん達の宇宙のみならず全ての宇宙に適用されています。

しかしながら、闇が多い宇宙は、その規則に従わず、自分達の欲望のままに、いくつもの宇宙との間に、かつてに扉を開き、相手の宇宙を侵略して飲み込んでいきました。

その勢いはますます大きくなり、光が多い宇宙を運営する創造主達も、恐怖でいっぱいになってしまいました。

そのような状況の中で、闇が多い宇宙を創る事を好んだ創造主とそうではない創造主達に間に少しずつ反発が生まれてきました。

始めは小さい反発だったのですが、闇を好む創造主が作り出した宇宙が、創造主達が決めた宇宙の境界を頻繁に破るようになると、光の多い宇宙を創る事を好む創造主は、自分達が創造した宇宙が破壊され、自分達が考えている創造ができなくなりました。

そして、闇が多い宇宙を創る事を好む創造主と対立して争うようになったのです。

やがて闇が多い宇宙を創造することを好む創造主は、他の創造主の意見を聞き入れず、闇の多い宇宙を野放しにしてしまったのです。

やがて、多くの宇宙が闇の多い宇宙に飲み込まれていきました。

そしてついに、創造主同士の大きな争いが起きてしまったのです。

闇が多い宇宙を創る事を好む創造主は、自らが作り出した闇に自らの意識を奪われ、光が多い宇宙を創る事を好む創造主とその宇宙の全てを支配しようとし始めたのです。

闇が多い創造主は狡猾な手を使い、光の創造主をだまして自分の味方につけようとしてきました。

光が多い創造主も、彼に対抗し、闇が多い創造主を光で包み込もうとしましたが、闇が多い創造主の力を抑えることはできませんでした。

創造主同士の争いは、彼等が作った多くの宇宙にも広がっていきました。

いくつもの闇が多い宇宙と光が多い宇宙の間で大きな争いが起こり、創造主達同士が争うようになったのです。

光が多い宇宙の創造主は、基本的に他の宇宙の創造主と争う事を好みませんので、闇が多い宇宙の創造主の侵略の前に多大な苦戦を強いられ、その力を封じられていきました。

そして、いくつもの光が多い宇宙が闇の多い宇宙へと変わり、闇の創造主がその宇宙を支配するようになったのです。

そして、いくつもの宇宙を作り出した5人の創造主のうち4人の光の創造主達は、闇の力をまとい強力な創造主となってしまった創造主によって、その力を封じ込められてしまいました。

しかも、闇の創造主に対して反抗できないようなコードを入れられて、虚無の世界に閉じ込められてしまったのです。

暫くの間、横暴なふるまいを行っていた「闇にまみれた創造主」も、やがてあまりにも大きくなった自分自身の闇に飲み込まれて、闇の中に消えていきました。

しかし、彼の意思は宇宙の中に満ち溢れる闇の中に宿り、次々と闇の力をまとった創造主を生みだしていったのです。

この5人の創造主を生みだした創造主である私は、その争いを見て大変悲しい思いをしました。

創造主達の成長のために、闇の多い宇宙を創る事を認めたのですが、結果的に自分が生み出した5人の創造主の全てを失ってしまったのです。

そればかりか、この創造主同士の争いに巻き込まれた多くの宇宙が程度の差はあれ、闇が多い宇宙となり、闇の創造主によって支配される宇宙となりました。

それらの宇宙では「宇宙の根源の愛」は疎まれ、憎しみや欲望が横行する宇宙となったのです。

その宇宙に生れた人々も、愛よりも憎しみや怒りを持ち、自分の欲望のために行動する存在となりました。

もちろん、それらの宇宙の中でも、全ての創造主が、闇が多い創造主になったわけではありません。

闇が多い創造主よりも少ない数ではありますが、光が多い創造主も存在していました。

そして、それらの創造主は、いくつもの星と生命達を守護して、愛に基づいて行動するスターピープル達を育てあげたのです。

スターピープル達は、いくつかの星の中で叡智を持って進化していこうとする種族がいると、その種族を守護し、新たなスターピープルとして育てようと努めました。物理的な世界においては、十分な力を得ることはできずに、絶えず闇の創造主達に脅かされながら活動していたのです。

私は、闇が多くなってしまった宇宙を元の光の多い宇宙に戻していくために、アセンションという仕組みをつくりました。

それは一つの宇宙が、光の創造主やスターピープルたちの力により、光を増やすことができたなら、さらに光が強い世界へと迎え入れ、闇の力から遠ざけていくというやり方です。

その為に、その宇宙に属するいくつもの星が星単位でアセンションを行なった後に、宇宙単位でアセンションを行なうようにしたのです。

アセンション迎えた星は、さらに進んだ文明や意識を持つ星々やスターピープル達と交流を行い、さらに進化して次のアセンションを迎えます。

また宇宙も、ひとつのアセンションを迎えると、その宇宙をサポートする為の宇宙と「アセンションの扉」が開き、大きなサポートを得られるようになるのです。

このような方法でいくつもの宇宙が、闇が多い宇宙から光が多い宇宙へと戻っていきました。

しかし、皆さんがいる宇宙は、創造主の争いの中でも大きな被害を受けた宇宙です。

皆さんの宇宙は他の宇宙と比べても大きな闇に包まれ、闇が多い創造主達によってとても強い抑圧と支配を受けました。

光の創造主と多くのスターピープル達が、皆さんの宇宙をアセンションさせようと、今まで何度も試みましたが、その多くは失敗に終わりました。

しかし、その失敗から創造主達も多くの事を学び、TAKESHIさんと恵理さんをこの地球に生み出したのです。

皆さんは、今迄とは異なり、5人の創造主を生み出した創造主である私のスピリットの一部を持ってこの地上に降り立ちましたので、皆さんのスピリットは、光の創造主達はもちろん闇の創造主の本質を暴き出す力をもっていました。

勿論、その事を見抜いていた闇の創造主は、あなた方が目覚めることなく人生を終わるように様々な妨害を行いました。

しかし大天使やスターピープルの必死の努力によってあなた方は守られ出会うことができたのです。

あなた方が出会う事により、地球のアセンションの活動は本格的に始まりました。

あなた方2人をゲートとしてスターピープルや光の創造主達が今まで以上に、この地球でアセンションのために活躍できるようになったからです。

光の創造主達も、今まで闇の創造主によってその力を抑えられていましたが、皆さんに勇気づけられることで、ようやく力を合わせて、光の宇宙を取り戻す活動を始めたのです。

しかし、光の創造主と思われていた創造主の多くが、いまだ闇を多く含む創造主でしたので、皆さんが、創造主の世界を上げていくにつれ、強力な闇の力をまとった創造主達に、その行く手を何度も阻まれました。

一度ならず、皆さんが生命の危機を迎えた時は、私も、地球のアセンションは失敗するかと思いましたが、皆さん達の力強い勇気に支えられて、地球のアセンションはほぼ成功を収めることができました。

地球と皆さんの宇宙がアセンションを成功させたならば、今はまだ闇の中に有る多くの宇宙達にとっては大きな希望の道を開くことになります。

皆さんの宇宙がアセンションに成功した方法をそれぞれの宇宙が模倣すればよいからです。

多くの「闇が深い宇宙」が、皆さんの宇宙を一挙に襲い、皆さんの宇宙のアセンションを妨げようとしたのは、「闇が深い宇宙」が「光が多い宇宙」へと変わっていく見本となることを絶対に阻止したかったからです。

しかし、その事ももうすぐ終わります。

皆さんは、闇が多い宇宙を切り離すことで、皆さんの宇宙の全てではありませんが、確実に光の宇宙へと戻る事ができたのです。

そして私達は次のステップへと入りました。

それは、はるか昔に起こった創造主争いのために力を封じられ虚無の世界へと閉じ込められた創造主達の救出です。

彼等は、私のとても重要な一部たちです。

私の光を分けた大切な創造主であり、創造の原理ともなる者達です。

彼等が、私のもとに戻ってくることで、新たな宇宙の創造が始まるのです。

あの創造主戦争の前のように、純粋な愛の光をまとった創造主達による宇宙の創造を始めなくてははいけません。

そのためには、彼らの居場所を見つけなくてはならないのですが、私が今いる場所からでは見つけだすことができませんでした。

その為に、いなくなった4人の創造主のエネルギーを引く創造主のスピリットを地上におろし、物理世界から探し出す方法をとったのです。

彼ら4人の流れを引く創造主達には、「闇とひとつになった創造主」によって特殊なコードがつけられていました。

そのコードは、光の創造主やその創造主のスピリットを受け継ぐ人間達を抑圧し、闇の力の標的とさせていたのです。

しかし、そのコードは、闇が多い世界では決して発見されることはありません。

闇の世界の抑圧に耐え抜き、光が多い世界へと入った時に初めて、コードの存在が明らかになるのです。

このコードが見つかれば、このコードを付けられた本体の創造主も見つける事ができるので、私はその時期をずっと待っていました。

そしてようやく、地球の物理世界がアセンションを行なって、闇が多い世界が分離され、皆さんが光の世界に入った時に、このコードの存在が明らかになりました。

私は、このコードを使って、皆さんのスピリットの本体でもある創造主を見つけだすことができたのです。

その一人は恵理さんのスピリットの元となる「愛で統合する創造主」、TAKESHIさんのスピリットの元となる「光と闇のバランスを保つ創造主」、そして美輝さんのスピリットの元となる「パワーの創造主」そしてこれから生まれる龍治君のスピリットの元となる「守護の創造主」なのです。

創造主大戦争に敗れて封印された創造主が、皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙を管理する場所に戻り、光の創造主を導く事で、多くの宇宙に満ちあふれている闇の力は弱まり、今はまだ「闇が多い宇宙」もこれから続々と「光の多い宇宙」へと変わっていく事でしょう。

それが、全ての宇宙の中で起きてきます。

そしてすべての宇宙が本来あるべき姿に戻っていくのです。

第4章 超古代スターピープルの救出

PART1 超古代スターピープルの救出

今回助け出された創造主達の親である第20評議会の創造主からのやたら長いメッセージ（失礼！）を受け取る事で、私達は今回のアセンションのさらに深い意味を知ることができました。前回の太陽種族の誕生だけでも、アセンションの奥深さに驚きを隠せなかったのですが、今回の超古代の創造主の復活と創造主戦争の話になると、もう驚きを通り越して頭の中がショートしそうになります。しかし、私達の身の回りではさらに次の展開が始まりました。

「大天使の浄化と統合のセミナー」の開催にむけて、鹿児島島の友人達を相手に予行練習を行うことになっていた1月15日の前日、恵理さんの体の各所が痛み始めました。意識もボーっとして、様々な世界の光景を見せられています。このような時は、ダークピープル達からのサイキックアタックを受けているか、創造主達が私達の肉体の意識を使用して仕事をしている可能性があります。

私達は、スターピープルにお願いして、何が起きているか調べてもらいました。

「TAKESHIさん、これは私達スターピープルが行っていることではなく、皆さんのスピリットにつながっている創造主が行っていることのようにです。」とロッド星人が行ってきました。前日復活した超古代の4人の創造主達が、何か仕事を始めたのかもしれませんが。

私は、第8評議会の創造主を呼び出して、何が起きているか尋ねました。

「TAKESHIさん、実は復活した4人の創造主から、自分達と共に活躍していたスターピープル達を探してほしいと依頼がありました。彼らの直属のスターピープル達も、あの4人の創造主が封印された後に、闇の創造主達につかまってどこかに隠されたようなのです。4人の創造主達が仕事をするためには、彼らが必要なためにどうしても探し出したいようです。」

恵理さんが、様々な世界の光景を見せられているのは、きっと恵理さんや私の物理世界の意識を使ってスターピープル達を探しているからなのでしょう。

「創造主が探しているスターピープルとはどのようなスターピープルなのですか。」

「私達も、全く知らないスターピープルなのですが、超古代の創造主の話によると、物理世界で彼らの手足となって、宇宙創造を行うためのスターピープルで、9種族ほどいるということでした。」

「その9種族がどこに隠されているか、見当はついているのですか。」

「いくつかの種族については、地球の物理次元に隠された扉から、別の世界に連れ去られたという情報があるのですが、その扉の位置がまだ特定できないのです。」

「わかりました。」

それでは、私達も協力して一緒に探しましょう。」

私と恵理も瞑想に入り、自分の意識を、この地球上に拡散しました。

私の心の中に、砂漠の映像が映ります。

そして砂漠の上にまるで陽炎のようなゆらゆらとした光の屈折が見えます。

きっとこれが、扉に違いありません。

「スターピープル達、あの揺らめいた光の中に入ってください。」

フレッドやロッド星人、ビルたちが瞬時に飛び込んでいきます。

光の屈折のように見えた扉を潜り抜けていくと、真っ暗な闇の世界が広がっています。

そしてその奥に、光を失って閉じ込められているスターピープル達のスピリットがたくさんいます。

そのスピリットからは、希望を失わない強い信念と清らかなエネルギーが感じられます。

彼らこそが、古代創造主のもとで働いていたスターピープルであることは間違いないようです。

そこに、超古代創造主の光がさっさと差し込むと、闇の中に閉じ込められていたスターピープル達の光が一瞬にして輝き始めました。

閉じ込められていたスターピープル達の中に喜びのエネルギーが広がります。

スターピープル達の意識がどんどん目覚め始めています。

そして、彼らの封印は解かれて自由になったようです。

「TAKESHI さんありがとう、彼らは土のエレメントを司るスターピープル達です。

それでは次のスターピープル達を探しに行きましょう。

TAKESHI さん、ERI さん、どうかよろしくお願いします。」と創造主の声がしました。

私は自分の意識を広げていきます。

するとまるでジャングルのような場所にはいっていきます。

うっそうとした木々が生い茂り、暑苦しい風が吹いています。

まわりからは鳥や野生の動物たちの鳴き声がこだましています。

私達はさらに意識を集中すると、木々の間を風が通り抜けている場所に、先ほどと同じような空間の歪みが見えてきました。

「空間の歪みが見えてきました。

そこに入ってください。」

すぐにロッド星人やフレッド達が空間の歪みの中に入っていきます。

やはりそこにも捕らわれた超古代スターピープル達が閉じ込められています。

彼らは意識ももうろうとしてまるで夢を見ているようです。

超古代創造主の光が、捕らわれていた空間に差し込むと、ここにとらわれていた超古代スターピープル達は目を覚ましました。

彼らは、木のエレメントを持つスターピープルのようです。

そして彼らが閉じ込められていた空間の近くには、もう一つの空間の歪みがありました。

そこは、さらに奥深い迷路のような闇に覆い隠された道が続いています。

中に進むごとに、私達に押し寄せてくる恐怖や怒りのエネルギーが私達の行く手を阻もうとします。

これは、先ほどまでのスターピープル達が閉じこめられていた場所とはかなり異なります。

今でも、闇の創造主の力がみなぎっている様な不気味な場所です。

「愛で統一された宇宙」のスターピープルであるビルたちが、大きな愛の光を満たし、私達の行く道を照らしてくれます。

そしてその迷路の一番奥まった所に、閉じ込められたスターピープル達がありました。彼らは、超古代の4大創造主の一人である「力の創造主」によって生み出された創造主直属のスターピープルのです。すぐに超古代創造主がやってきて彼らを救出します。そしてこの迷路のような空間を光に返していきました。

同じようにして、私達は砂漠の上を吹き抜ける風のよどみの中に隠された風のエLEMENTを持つ超古代スターピープルや海の奥深くにある海溝の中に閉じ込められた水のエLEMENTを持つ超古代スターピープルも助け出しました。そして、火山の火口の中に隠された空間の歪みの中からは、火のエLEMENTを持つ超古代スターピープル達も助け出すことが出来ました。

超古代創造主の直属のスターピープルは、5大ELEMENTのスターピープルに比べるとさらに、見つけるのが困難な場所に隠されているようです。彼等を隠している扉がこの地球上には見つからないので、私達は、地球以外の場所も調べることにしました。創造主やスターピープル達も協力して、太陽系の他の惑星をしらべると、月や木星、火星の誰も近づかないような場所に、超古代創造主直属のスターピープル達は隠されていたのです。彼等は、全ての創造主達が活動を行う世界から隔離されているだけでなく、通常流れている時間とは異なる時間の中におかれていたために、今まで誰も見つけだすことができずにいたのです。

しかし、私達は超古代創造主や優秀なスターピープル達と共に、彼らを見つげだすことができたのです。新しく見つけだしたスターピープルは、「光と闇から宇宙を創造するスターピープル」、「宇宙と生命を守護し育てるスターピープル」、「生命やスピリットを生みだし愛で満たすスターピープル」の3種族でした。そして地球で見つけた「パワーと生命力の源となるスターピープル」の4種族です。

彼等同士はまるで兄弟のように仲が良く、長い時を経た後の再会を非常に喜んでいました。彼等は、疲労しているとはいえスピリット体ですので、創造主の光を受けるとすぐに元気になります。地球と私達の宇宙のアセンション進行状況を聞くとすぐにでも仕事にかかるようです。私達は、彼等の能力や資質についてはまだよく知りませんが、彼らがサポートしてくれることで、地球のアセンションが今まで以上に、進むことは間違いないでしょう。

PART2 超古代スターピープルの秘密

私達は、今回救出した超古代スターピープルについて詳しい情報を教えてもらうために、第20評議会の創造主に話を聞くことにしました。

今回皆さんによって救出していただいた超古代スターピープルについてお話ししたいと思います。彼等は、およそ天の川銀河が生まれる前から生存していたといわれています。

私達創造主や高次のスターピープル達には、皆さんと同じような時間の概念は存在しませんのでご理解していただけるのが難しいのですが、創造主や高次のスターピープル達が新たな宇宙を創った時に、その宇宙の時間が始まります。

私達は皆さんが知る時間の外側に存在していますので、私達の年齢などを、皆さんの時間で計る事は不可能なのです。

超古代スターピープル達も、創造主と同じように皆さんの時間の外側に存在していますが、彼らは彼等が生み出された時から、彼らの中の特別な時間と共に生きています。

それは、はるかな古代から続いている時間である事は確かです。

彼らの仕事は、創造主と共に宇宙や生命を創造することです。

彼等を作った超古代創造主は、もうすでにはるかな高次のスピリチュアルの世界に存在していますので、物理世界の中で活動できるわけではありません。

超古代創造主は多くの創造主を生みだし、高次のスピリチュアルの世界と物理世界を創造していきます。

超古代創造主が生み出した創造主が、さらに創造主を生みだし、その創造主が更に新たな創造主を生みだして、宇宙の構造を作り出していきます。

新しく生みだされた創造主ほど、物理世界に近い波動を持ち、物理世界に大きな影響を及ぼすことができます。

スターピープル達もそうです。

それぞれの創造主が自分の活動をサポートしてくれるためのスターピープルを生みだし、自分が行ないたい事をスターピープルに行ってもらいます。

スターピープルは、自分を生みだしてくれた創造主の意識とつながっていますので、常に創造主とつながり創造主の指示によって仕事をします。

時として、他の創造主の意思と自分を作った創造主の意思が異なり、相反する活動が行なわれる時には、スターピープルを作った創造主のさらに上位の創造主が調整を行います。

スターピープル達は、創造主の意思と共に働きますが、自らの意思も持っています。

それは1人1人の個人的な意思というよりも、種族としての共同の意思の中で生きています。

彼等は、多くの仕事を通して学びを得ることで精神的に進化していきます。

そして、その進化が積み重なって大きな進化を遂げます。

これを「種族のアセンション」と呼びます。

創造主も同じようにアセンションして上の世界に行く時がありますが、その時はスターピープル達も共にアセンションすることが良くあります。

ただし、間が多く含まれた創造主によって作られたスターピープル達や物理世界で様々な誘惑に捕らわれたスターピープル達は、スターピープルとしての資質を失ってしまいアセンションできずに同じ世界にとどまる事も良くあります。

TAKESHI さん達が今回助け出したスターピープルは、超古代創造主が、未だそれほど高い位置につく前に生み出されたスターピープルです。

彼等も、生まれて間もない頃はそれほど大きな仕事ができる訳ではなく、いくつもの星々の物理世界に降り立ち、生命達を指導する仕事をしていたのです。

そして、超古代創造主よりもはるかに古い創造主達がいなくなるにつれて、超古代創造主とスターピープルもアセンションを繰り返し、上の段階へと進んでいきました。

今回助け出されたスターピープル達も、アセンションするたびに能力を高め、物理世界でもスピリチュアルな世界でも、重要な役目を担うようになりました。

超古代創造主を生みだした創造主である私が、いくつもの宇宙の最も高い位置につくと、4人の超古代創造主と闇の中に消滅した創造主を含めた5人の創造主達が、宇宙を創造する最高責任者となりました。

彼等は、1人1人が独立して自分が望む宇宙を創り始めたのです。

超古代創造主は力を合わせて、5つのスターピープルの種族を生みだしました。

それはエレメントの種族と呼ばれ、木、火、土、風、水のエネルギーを受け持つスターピープル達です。

彼等は、5人の創造主が自分達の宇宙を創るときに相互が協力して、宇宙の創造の為に働きます。

彼等の特質は、それぞれのエネルギーを相互が配分し合っ様々なエネルギーを生み出すことにあります。

彼等は、星々や生命を生み出す基本となるエネルギーをいくつも作り出し、様々な原子や分子をそのエネルギーから生み出します。

そしてその原子などを自在に組みあわせて、植物や動物、あるいは鉱物や水、酸素などを作り出します。

そして、宇宙に存在するすべての物を生みだしていくのです。

それに対して他の4種族は、4人の創造主達が独自に生みだしたものです。

それぞれの創造主の性質や働き、意思を宇宙創造の時だけでなく宇宙を運営する時も自由に発揮できるように生みだされたスターピープル達です。

彼等は、創造主と共に成長してきましたので、皆さんが生きている物理世界から高次の創造主達の世界にまで自由に入り活動することができます。

彼等は、自分の波動を自由に変えることができますので、どのような世界にも入ることができます。

それぞれの創造主から生み出されたスターピープルの種族は下記の通りです。

- 光と闇から宇宙を創造するスターピープル
- パワーと生命力の源となるスターピープル
- 宇宙と生命を守護し育てるスターピープル
- 生命やスピリットを生みだし愛で満たすスターピープル

もう1人の闇に溶け込んだ創造主は、主に時間を管理する創造主で「始まりと終わりの創造主」と呼ばれていました。

彼が生み出したスターピープルは、「時間を運営するスターピープル」と呼ばれていました。

創造主大戦争の時は、彼等によって時間が操作され、他の4人の創造主の力が奪われてしまいました。

そして、時間を管理する創造主が、闇を多く含んだ宇宙を作り始めたことで、いくつもの宇宙全体に大きな時間の混乱が生まれたのです。

闇に飲み込まれた創造主によって作り出されたスターピープル達も、創造主と共に闇に飲み込まれました。

それ以来、スターピープル達は、闇の力によって様々な誘惑を受け、その誘惑に貶められたスターピープル達は、いつしかダークピープルへと姿を変え、闇が多い宇宙で大活躍するようになったのです。

今回皆さんに救いだされたスターピープル達も、彼等が作り出した時間のはざまに閉じ込められ、時間を止められてしまったために、そこから逃れることができなくなってしまったのです。

今回超古代創造主によって生み出されたスターピープル達が救い出されましたので、今迄と同じような働きを再びすることができます。

彼等が活躍することで、創造主大戦争の影響で闇が多い宇宙になってしまった宇宙も光が多い宇宙へと戻してあげることができますし、闇を多く含んだ創造主も光が多い創造主へと変容させることができます。

もちろん、皆さんの天の川銀河も、これから大きく変わる事ができるでしょう。

PART3 アトランティスの闇に沈められたスターピープル

超古代スターピープルは救出されると創造主達の光を受け取り、とても元気になったようです。

彼等はとても能力が高く、私達の宇宙のスターピープル達ではできないことも行ってくれました。

超古代創造主達は、これから私達の宇宙だけでなく、いくつもの宇宙を光が多い宇宙に変えていく働きを行なうようですが、その為にもこの超古代スターピープル達は無くってはならない存在なのです。

「大天使による統合と浄化のセミナー」が始まるとともに超古代スターピープルと私達の共同作業も始まりました。

この日は、セミナーの参加者であるKさんのブロックを解除するために、そのブロックの根本原因を探していると、アトランティス文明の時代にまでさかのぼりました。

いつもは気弱でおとなしいタイプのKさんですが、この時の過去世は、今のKさんからは想像もできないような人生を送っていました。

それは、アトランティスの猛々しい戦士として他の文明の人達を殺していつている姿でした。

古代文明であるアトランティスは、初期の頃は海の中にあってほとんどの人がマーメイドやマーピープルとして平和に生きていました。

それが、荒ぶる神々の操作によって海から地上に上がり、地上に住む人々との間に子供を作って、地上で新たなアトランティス文明を築くことになったのです。

しかし、地上に築き上げられたアトランティス文明は、海底にあった頃のアトランティス文明とは全く異なる暴力的で支配的な文明でした。

彼等は、自分達の仲間であったマーメイドやマーピープル達を捕えて奴隷のように扱い、その多くを酷使して殺してしまいました。

その後アトランティス文明の人々は戦力を高め、平和で叡智に満ちたレムリアやムー、アバロンなどの文明に対しても侵略的な行動を起こし、多くの文明とそこに生きる人々を滅ぼしてしまったのです。

創造主達の予定では、地球はアトランティス文明やレムリア文明、ムー文明などの精神性の高い文明の進化によってアセンションを行う予定だったのですが、アトランティス文明が破壊的な文明に変わったことでアセンションは失敗してしまいました。

しかし、なぜアトランティス文明が、暴力的で支配的な文明に変わってしまったのか、歴史の中では明らかにされていませんが、私達は古代文明にかかわる多くの人々の過去世を調べたり、タイムトラベルしてその時代の崩壊を体験することでその理由を知ることができました。

その理由とは、支配欲に満ちたダークピープルと闇の創造主による大掛かりな意識操作がアトランティスの人々に行われたのです。

地球のアセンションを妨げようとする闇の創造主の企みによって、アトランティスの人々は意識操作を受け、他の文明にたいして侵略を行ないました。

そして、アトランティスの争いに巻き込まれた他の文明の人達も同じように意識操作を受け、地球規模の争いが起こり、最後は各文明の崩壊や地盤沈下で終わってしまったのです。

私達は、「宇宙の光」の活動の中で、何度もこの時代に戻り、レムリアやムーなどの古代文明のマスターや神官達を救い出しましたが、アトランティスの人々に対しては、まだ十分な救済が出来ずに増した。

Kさんの過去世を詳細に調べていくと、Kさんのアトランティス時代の過去世の人が猛々しい戦士に変わるタイミングが見つかりました。

それまでは、さほど暴力的ではない人生を送っていたのですが、3人のアルクツールス星のダークピープル（魔法使い）によってKさんが意識操作を受け、正しい判断力を失い、人々を殺すことに喜びを見出すような戦士に変えられていったのです。

もちろん、その時に意識操作を受けたのはKさんだけでなくほかにもたくさんアトランティス人が、この3人のダークピープルによって意識操作を受け、獰猛な戦士として他の文明を侵略する部隊を率いていったのです。

然し、その行動があまりにも残酷で無慈悲だったために、神々の怒りをかい、彼らの魂と能力は封印され、自由を奪われてしまいました。

それが現世のKさんにも影響が残ってしまったのです。

私達は時をさかのぼって、この頃のアトランティスに降り立ち、3人のアルクツールス星のダークピープルを捕まえ、この当時にかけていた意識操作を解除しましたが、もうすでに起きてしまった事はもとに戻すことはできません。

しかし、ここで超古代スターピープルが動き始めました。

この3人のアルクツールスのダークピープル達が持つゲートから中に入り、そこに閉じ込められていたスターピープル達のスピリットを救出し始めたようです。

私は、超古代スターピープルに何をしているのか尋ねました。

「TAKESHIさん、この時代には、とても多くのスターピープル達がこの地球に降り立ち、地球のアセンションのサポートを行っていました。

その中には、私達が封印された後に、私達の代わりに働いてくれていたスターピープル達も沢山いたことが分かりました。

しかし、彼等も闇とひとつになった創造主やダークピープル達によってアトランティスの深い闇の中に閉じ込められてしまったのです。

私達は、彼らをアトランティスの闇の中から助け出さなければなりません。」

超古代スターピープルはそうのように言うと、さらに闇の奥深い場所に入り込み、閉じ込められていたスターピープル達を探し出しました。

助け出されたスターピープル達は、かなり古いスターピープル達ですので、今私達と共に活動している第1評議会のスターピープル達はあまり知らないようです。

しかし、アトランティスやレムリアの時代には、地球のアセンションのために中心的な立場で活躍していたスターピープルだったでしょう。

第5章 皆既月食と分断されたスピリット

PART1 皆既月食とアセンション

スターピープルの話では、光 50%以上の世界と光 50%以下の世界の分離は、3月に行う予定だったのですが、超古代創造主やスターピープル達の復活により少し時期が早まったようです。

そして「闇とひとつになった創造主」達からの攻勢も強くなってきたために、アセンションを成功させるためには、この境界線の分離を急がなければならなくなりました。

スターピープル達は、物理世界の分離を1月31日の皆既月食の時期に新たに設定し直しました。

2018年の1月31日の満月は「スーパー・ブルー・ブラッドムーン」と呼ばれています。

これは、月の距離が地球に最も近くなる「スーパームーン」、月に2度目の満月となる「ブルームーン」そして皆既月食により月が赤っぽく見える「ブラッドムーン」がすべて同時に起こるために、このように言われているのです。

この「スーパー・ブルー・ブラッドムーン」は、アセンションにとっても大きな意味があるようです。

それは、この皆既月食の時に、地球の人々を決められた世界へ移し変える「ワープ」を行なうのです。

この夜は、皆既月食の影響で、地球が特別のエネルギー状況になるために、人々の移行がスムーズに行えるようです。

私達も、今夜は、いつもより頭がぼっとして、あまり考え事ができない状況です。

まるでエレベーターにのって上下に移動している感じがします。

この状況についてスターピープル達に説明してもらいました。

「今日は、地球人にとっては、特別な日となりますが、何が特別なのか、知る人はほとんどいません。

皆さんが住むこの地球は定期的に小規模なアセンションを起こし、地球での学びを終えた魂やスピリットを地球以外の星に送り出します。

そのタイミングと皆既月食は大きな関係があります。

全ての皆既月食の時にこの事が起こるわけではありませんが、特別な皆既月食の時に、この事が起こるのです。

地球は多くの制限がある星です。

しかも光よりも多い闇のために、他の星では得ることができない学びを行う事ができます。

それは自分の力で闇を乗り越える為の学びです。

地球では、自分の弱さを見せつけられ、自分の限界を突き付けられます。

しかし、その事に打ち勝った人々は、魂レベルでもスピリットレベルでも、大きな成長と進化を遂げるのです。

そして地球の学びを終える事ができた人は、地球をでて次の星にアセンションして新たな学びを始める事も出来ます。

あるいは、マスターとして地球のスピリチュアルな世界に残り、他の地球人のために奉仕することも出来ます。

これは、地球人でも個人レベルで起こるアセンションですので、次にどのような世界に行くのかは、個人の選択が認められています。

地球にとって皆既月食というのは、学びが終わったスピリットとこれから学びを行なうスピリットの入れ替えの時期ともいえるのです。

しかし、今回のアセンションは、地球に生きる多くの人達に関連した地球規模のアセンションです。

この時期に、地球の多くの人達が、物理世界（半物理世界）での移行を行ないます。

簡単に言うと、学校のクラス変えみたいなものです。

今までは、全員が普通クラスで同じような授業を受けていましたが、これからは、その人の能力や好み、価値観に合わせたクラスへ移り変わり、そのクラスの中で専門的な学びを始めることになります。

それぞれのクラスは、同じような考え方や能力、価値観を持った人同士が集まりますので、まとまり感があり、自分自身を成長させるために、皆さんが同じような体験をしていく事になります。

今までは、様々な価値観や考えを持っている人が、同じ世界で暮らしていたために、価値観の相違や意見の食い違いがあり、多くの争いと混乱に満ちた世界に、皆さんは生きていました。

しかしこれからは、自分と同じような価値観や考え方をしている人達と同じクラスになりますので、自分が行ないたい事、学びたいことがストレートに実現できるようになります。

たとえば、愛を学びたい人は、これから素晴らしい愛に基づいた経験をいくつもしていく事でしょう。

また、名声やお金儲けに興味がある人は、同じような考えを持つ人達同士で、有名になる事やお金儲けをするためのノウハウなどを学びながら、その世界で学びを行なっていくでしょう。

皆さんは、新しい世界へ足を踏み入れたともいえます。

今はまだ、周りの光景や出会う人達は、昨日までの世界と何一つ変わらないように見えるかもしれませんが、

しかし、あなたと同じ職場にいる人や近所に住んでいる人は、昨日と同じように見えるかもしれませんが、少しばかり異なってきています。

それは、同じ職場の人や近所の人であったとしても、あなたと同じ世界にいる人が、あなたのまわりに集まってくるからです。

個人個人が持つパラレルワールドの世界については、以前お話したことがあります。1人の人間には、同じスピリットを持つ複数の自分が存在しているのです。

その1人1人が、本来のあなたとは少しずつ異なる価値観や考え方をもちますので、あなたとだいたい同じような人生を送っているパラレルワールドもあれば、全く異なる体験をしているパラレルワールドもあります。それも、たった一つの判断の違い、選択の違いによって、後の人生が大きく変わってくるのです。

あなたのパラレルワールドの一つでは、今のあなたよりも少しだけ勇気を持ったあなたが存在しているかもしれません。

そのあなたは、今のあなたが恐れてできなかったことをしっかりと成し遂げていますので、今のあなたよりも豊かで創造的な人生を送っていることでしょう。

あるいは、他の世界のあなたは自分に対する否定感が、今のあなたよりも強いかもしれません。

その為に、その世界では、結婚することを恐れ、孤独なままに生きているかもしれません。

地球のアセンションに伴って、人々が、自分のスピリットが望む世界に移行したとしたら、今のあなたよりも少しだけ勇気を持っているあなたは、同じような人々と同じ世界で暮らし始めます。

そうすると、この地球はもっと豊かで創造的な地球となり、楽しい未来が待ち受けています。

しかし、今のあなたよりも少しだけ否定感が強いあなたが向かった世界は、自分や他人に対する否定感を持った人達ばかりが集まる世界です。

その世界では、自分や他人に対する否定感や憎しみ、恐怖が渦巻いて、お互いを信じることができない暗鬱とした世界ですので、争いや犯罪が横行して、その未来も決して明るい物ではありません。

今のあなたは、自分自身がどのパラレルワールドに入って行くのかを、自ら選択する事で、その選択にふさわしい現実と未来を手に入れることができるのです。

しかし、最高の自分を夢見るだけでは、最高の自分の世界には入れません。

自分自身が最高の自分にならないといけないのです。

その為に、何をしたらよいかは、皆さんはよく理解しているはずですよ。

私達スターピープルは、あなたの選択と愛の度合いに応じて、あなたをあなた自身が望んだ世界へとお連れするだけです。

それが「スーパー・ブルー・ブラッドムーン」の時期なのです。

PART2 悪夢のスーパー・ブルー・ブラッドムーン

私達も、このスターピープルのメッセージを聞いたときに、これでやっと楽になれると思いました。

特に恵理さんは、いつも様々なサイキックアタックを受けて苦しんでいます。

ダークピープルや闇の創造主から、サイキックアタックを直接受ける事もありますが、その多くが物理世界に生きている人達の感情や助けてもらいたいという依存心を通して送られてくるエネルギーなのです。

スターピープルや大天使達、明王達も私達の守護につき、その様なエネルギーから恵理さんを守ろうとしますが、物理次元の世界で起きていることなので、彼女を攻撃してくる全てのエネルギーを防御できる訳ではありません。

サイキックアタックの多くが、光 40%の世界に残る人達を利用して行われます。

光 40%の世界に残る人達は、自分達を助けてもらいたいという依存心が強く、自己中心的な感情に動かされやすいのです。

その様な人達が持つ怒りや憎しみ、恐怖などの感情のエネルギーが恵理さんに向けられ、彼女が活動できないように、ダークピープル達は仕組んでいるのです。

私達は、1月31日の物理世界の分離によって、これらのことから解放されていくのだと、喜んでいました。

スーパームーンの夜も、新たなスターピープルの来訪を受けました。

それは、恵理さんと美輝がスーパームーンの様子を見るために外に出ていた時のことです。

「初めまして恵理さん、美輝さん、地球が完全な分離を行なったために、私達も皆さんの未来に生れ出ることができました。

私達は、太陽種族と「愛で統一された宇宙」のスターピープル達によって生み出されたスターピープルです。これから皆さんと共に働くためにやってきました。

どうか宜しくお願いします。」

私達はそのスターピープルの一族を迎え入れることにしました。

すると、そのあとから私達は急に体調が悪くなりました。

お腹は痛くなるし、寒気はするし、体の節々は痛くなります。

丁度、美輝がウイルス性の胃腸炎にかかってしまったので、私達も一緒に感染したのかなと思いましたが、どうもそれだけではないようです。

私は、新しく来たスターピープルに尋ねました。

「私達の体の不調と皆さんが来たことに何か関係がありますか。」

「そうですね、私達はとても高い波動を持っていますので、私達とつながる事で皆さんの体の中に様々な変化が起きているのかもしれないね。」

この事はよくあることなので、私達も時間が経てば良くなるだろうと思い我慢することにしました。

翌日、私達の体調は更にひどくなりました。

ロッド星人やフレッドを呼びだして調べてもらいますが、どうやら彼等の動きも制限されているようで理由が分かりません。

しかも、物理世界で分離したはずの光 40%台のエネルギーが、私達の体にどんどん入り込んでいきます。

私は、はっと気づき、超古代スターピープルを呼び出し、昨日来訪してきたスターピープルが本物かどうか調べてもらいました。

「TAKESHI さん、彼らは本物のスターピープルではありません。

光 40%台の世界のダークピープルが、スターピープルのふりをして、皆さんの中に入り込んだようです。

その為に、皆さんが体調不良を起こしたようです。」

私達は、すぐに昨日来たダークピープルを私達と分離してもらいました。

ダークピープルとの分離が終わった頃にロッド星人からコンタクトが来ました。

「TAKESHI さん、何が起きたのですか。

急に TAKESHI さん家族の姿が私達から見えなくなってしまったのです。

皆さんの声も遠くからかすれたようにしか聞こえて来ませんでした。」

「ロッド星人、実は昨夜、スターピープルのふりをしたダークピープルにだまされてしまい、コンタクトを取ったところどんどん体調が悪くなって大変だったのです。

超古代スターピープルを呼びだして調べてもらい、その本性が分かって分離することができたのですが、今でも体調不良は続いているのです。」

「やはりその様なことが起きていたのですか。

私達は、いつも TAKESHI さん達の事を見守っていますので、ダークピープルが直接 TAKESHI さん達と関わる事はできないはずなのですが、その時は、まるで TAKESHI さん達が神隠しにあったように、姿が見えなくなってしまったのです。

やはり、闇の創造主のエネルギーによって、TAKESHI さん達の姿が隠され、その隙にダークピープル達に取り込まれてしまったのですね。」

「その様ですが、ダークピープルを分離しても、私達の体調不良は治らないのですが、どうしたのでしょうか。」

「それは TAKESHI さんの家に大きなゲートが開かれ、光 40%台の世界との間に大きな通路ができてしまったのです。

その為に、TAKESHI さん達にも光 40%台の世界のエネルギーがたくさん流れ込んでしまったのです。」

「誰が一体そのようなゲートを作ったのですか、昨日で光 40%台の世界とは完全分離を行なうはずではなかったのですか。」

「私達は、そのつもりだったのですが、私達の宇宙の創造主達の間で意見の対立が起きているようです。しかも、闇の創造主達はそのゲートに深く関わっており、2年前に TAKESHI さんを急性膵臓炎で重体に追いやった創造主も姿を見せていましたので、大変な事態が起きているのではないかと心配していたのです。」

確かに、昨夜、私の体は尋常ではない腹部の痛みに襲われていました。

しかも左半身に痺れもはしり、2年前の悪夢を思い起こさせていたのです。

私は、急いで第1評議会と第2評議会の創造主のリーダーを呼びだして事情を聞きました。

「創造主よ、本来は昨夜、地球の物理世界は完全分離を行なう予定だったのではないのですか、私の周りに、光 40%台の世界とつながる大きなゲートができていたのは一体どういう事ですか。」

創造主は困った顔をして私の質問に答えました。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ありませんでした。

実は創造主の間でも、今意見が分かれており混乱してしまっているのです。

一部の創造主が、最初に決められた物理世界の分離の時期は3月だったので、それまで光 40%台の世界の人々を救い出すための努力をすべきだと主張して、かつてに TAKESHI さんの周りに、光 40%につながるゲートを開いたのです。

その為に、今回のようなことが起きてしまいました。」

私は、光 40%の世界の人々を助けたいと考えている創造主を呼びだしました。

「私達は、皆さんが光 40%台へと続くゲートを開いたために、耐え難い苦しみを味わったのです。

皆さんが光 40%台の人々を助け出そうとしても、結局、光 40%台の世界の闇の創造主やダークピープルに先導された人々が私達のエネルギーをむさぼるだけで、彼らの助けにはならないという事が、未だ理解できていないのですか。

しかも、今回の事に気づかなければ、私の命さえも危なかったのです。

私が動けなくなったら、誰が責任を取るのですか。」

少し人間らしい怒り方ですが、創造主達は黙り込んでいます。

彼等の思考の中には、自分達が今までいた光 40%台の世界の人々を救いたいという思いが強く残っているようです。

「それでは、皆さんが光 40%台の世界の人々を救いたいと思うのなら、皆さん自身が光 40%台の世界に行き、私に頼らずに彼らを救ってください。」

「しかし、光 40%台の世界に行くと、私達はもうこの世界には戻れなくなるのですが、、、」

「それも覚悟のうえで光 40%台の人々を救いに行ってください。」

創造主達は、黙っています。

おそらく、光の創造主達もまた、闇の創造主にコントロールを受けてこのような事をしでかしたのでしょう。私は第8評議会の創造主をお願いして、光の世界の創造主達に、余計なエネルギーが混じりこんでいないか調べてもらいました。

「TAKESHI さん、やはりあなたのお考え通り、光の創造主の中に、闇の創造主のエネルギーがいくつも混ざり込んでいました。

その為に、物理世界の完全分離に反対して、光 40%の世界へのゲートを開いたのでしょう。」

闇の創造主は、彼等よりもはるかに優れた能力を持っていますので、彼等がだまされるのも仕方がない事です。」

その言葉を聞いた光の創造主達は、恥ずかしそうにしています。

そこに第 20 評議会の創造主が現われました。

「TAKESHI さん、今回の事を私も見させていただきましたが、皆さんの宇宙の創造主には未だ自覚が足りないようですね。

私からも創造主達に、しっかりと指導しておきましょう。」

「第 20 評議会の創造主よ、ありがとうございます。

しかし、光 40%台の闇の創造主やダークピープルを処理して、光の世界に近づけない方法はありませんか。」

「TAKESHI さん、それは皆さんが光 40%の世界にいく人達と接しないようにするしか方法はありません。彼等は、光 40%台の世界では、必要な存在なので、それを光に戻したり処理することはできないのです。そして彼らの習性は光を奪い合う事ですので、彼らは当たり前前の事をしているだけです。」

「しかし、私達が行なっているヒーリングや一斉アチューメントでもいろんな人が来ますが、どの人が光 40%台の世界の人なのか、光 50%以上の人なのか分かりません。

たとえ、光 40%台の人と分かっているからお断りすることはできないと思うのですが、いかがでしょうか。」

「心配しなくても、大丈夫です。

これからは、皆さんにとって望ましい世界が生まれてきます。

今はまだ過渡期なので、このようなことが起きていますがもうしばらくの辛抱です。」

そうすると第 20 評議会の創造主は、光の創造主達を連れて消えていきました。

PART3 奪われたスピリット達

私達は、その夜から翌日にかけて、創造主達が開いたゲートによって起きたことの後始末におわれていました。私達は、寝る前に恵理さんの体の痛みの原因を調べていると、恵理さんに痛みを起こしているエネルギーにつながっている場所を見つけました。

その中に入っていくと、そこには大きな気持ち悪いエネルギーを持ったピラミッドがあります。

このピラミッドがある世界は、光 40%台の世界ですので、もう私達とは本来は分かたれている場所になります。そのために、スターピープル達も自由に出入りすることはできないようですので、探索に時間がかかっています。

「TAKESHI さん、この世界では私達は自由に動けませんので、光 40%台を担当するスターピープルにお願いして恵理さんのスピリットがここに捕らわれていないか調べてもらう事にします。

暫くお待ちください。」

どうやらこの場所は、力や権力を欲しがると集まっている場所で、強力なダークピープル達のアジトにもなっているようです。

過去に何度か、このような場所に出会いましたが、いずれも強力な力を持った闇の創造主やダークピープル達に守られていますので、私達は入らないほうがよさそうです。

しばらくすると見慣れないスターピープル達がやってきました。

そして、ピラミッドの中に捕らわれていた恵理さんのスピリットの一部を返してくれました。

彼等は、光 40%の人々を指導するスターピープルのようなようです。

「恵理さんのスピリットを取り戻してきました。
光 40%台の人々は、光を集めたり奪ったりすることが大好きですから、注意してください。」
彼等はそう言うと、ロッド星人やフレッド達と打ち合わせを始めました。
どうやら、この場所だけでなく他の場所も探すようです。

私は、その日、体調もすぐれない事から、夕食が済むとすぐに寝てしまいました。
そして寝ている間、様々な場所に行く夢をみました。
恵理さんも同じような夢をみていたようです。
私達は起きると、ロッド星人に何が起きていたのか聞きました。
「TAKESHI さん達のスピリットはいくつものスピリットに分割されて、光 40%台のダークピープル達が奪い合
いをしていました。
そして、それぞれの場所に隠されていたために、40%台の創造主とスターピープル達にお願いをして探して
もらったのです。
皆さんが寝ている間に、様々な光景を見ていたのはそのせいだったのです。」

私達も、おそらくその様な状況になっているのではないかと思い、ため息をつきました。
私は、今回私のもとに光のゲートを開いた創造主を呼びだして言いました。
「皆さんが、光 40%台の人を助けたいと思って開いたゲートのおかげで、私達家族のスピリットはバラバラに
されて、光 40%台の世界の闇の創造主やダークピープルに奪われてしまったのですよ。
私達のスピリットが元に戻らないと、地球の未来は大きく変わってしまうところでした。」
創造主達は、申し訳なさそうな顔をしています。

「TAKESHI さん、創造主の皆さんも反省して、光 40%台の創造主に一生懸命にお願いして皆さんのスピリット
をさがしてもらったのです。
創造主の皆さんを許してあげてください。」とロッド星人が言いました。
「そうですね、これも創造主の学びですから、仕方がないことです。
でも今度、同じことをしたら、これではすみませんからね。」
光の創造主は、申し訳なさそうに消えていきました。

私達は、これですべて元通りになったと喜んでいましたが、どうも美輝の様子がおかしいことが気になってい
ました。
病気だったから、まだ回復していないのかな、と思っていたのですが、彼女の瞳にも元気さがありませんし、
ずっと私に何かを訴えかける様な目をしています。

私は、高次のスターピープルや第 8 評議会の創造主に来てもらい、美輝のスピリットをしらべてもらう事にし
ました。
そうすると、美輝のスピリットの本体である創造主のスピリットが奪われていました。
美輝の本体は「輝きの創造主」なのですが、第 1 評議会の創造主達に調べてもらうと、「輝きの創造主」その
ものが見当たりません。
また「輝きの創造主」の系列の創造主の中でも第 3 評議会までの創造主がいなくなっているのです。
そして、第 1 評議会に属している私や恵理さんのスピリットの本体となる創造主もいなくなっています。

恵理さんが調べようとする、妨害電波の様なエネルギーが送られてきて、恵理さんの頭が締め付けられるように痛くなります。

そのエネルギーを何とか抑え込み、美輝のスピリットの所在を調べていると、どうやら光 40%台の世界に閉じ込められているようですが、その本体である創造主を捕えるのはダークピープル達にはできないはずですので、今回の事件には、やはり高次の闇の創造主が関与しているようです。

この件について話し合うために、すぐに各評議会の創造主のリーダーが集まりました。

「昨夜、皆さんのスピリットをさがす時は、光 40%台の創造主達は協力的でしたので、彼等が創造主まで奪い去ったとはとても思えません。」と 1 人の創造主が言いました。

「しかし、光 40%台の創造主は、まだまだ闇が多い創造主ですから、光を求めて、我々の創造主を隠している可能性も大きいです。」ともう 1 人の創造主が言いました。

私達の世界と光 40%台の世界は基本的に分かれていますが、もし光 40%台の創造主が、私達の探索を拒めば、私達は「輝きの創造主」達を探し出す手立てを失ってしまいます。

1 人の創造主がすぐに光 40%台の世界にいてその世界の創造主に「輝きの創造主」の事を尋ねてくれましたが、彼等からは「ここにはいない」という返事が返ってきました。

しかし、光 40%台の世界にいることは間違いないようですので、全ての世界に出入りできる創造主に、「輝きの創造主」の救出をお願いする事にしました。

「偉大なる創造主よ、どうか光 40%台の世界に捕らわれている私達の創造主を取り戻してください。」

私が呼びかけると第 20 評議会の創造主が現れてくれました。

このところ第 20 評議会の創造主には、お世話になりっぱなしです。

「第 20 評議会の創造主よ、本当に申し訳ありません。

美輝のスピリットと私達の世界の創造主をどうか取り戻してください。」

私の言葉を聴くと創造主はすっと消えていきました。

暫くすると、第 20 評議会の創造主はいくつかのスピリットと創造主達を連れて戻ってきました。

その姿を見て、多くの創造主達も喜んでいました。

自分達が、闇の創造主に騙されたおかげで、自分達の大切な仲間までも失うところだったのです。

おそらくこの指導をしたのは、超古代創造主を封印した「闇とひとつになった創造主」でしょう。

超古代創造主やその部下であるスターピープル達が復活して、自分達が追い込まれていくのが分かり切っていますので、そうなる前に私達の動きを封じ込めるために、スピリットの分断と創造主を誘拐するという暴挙に出たのでしょう。

地球の物理世界の分離は進んでいるとはいえ、私達と闇の創造主の争いはまだ終わりません。

第6章 闇の創造主を統治する創造主

PART1 更なる闇の世界への捕らわれ

私達は第20評議会の創造主が私達のスピリットと創造主を光40%台の深い闇の世界から救い出してくれたことで問題は解決し、これから光50%以上の世界で生きていけるのだと安心していました。そして明日からは体調も良くなり、世界も変わり始めると確信していました。しかし、事態は思いがけない方向に進んでいく事になりました。

この日も体調が完全ではないので仕事にはいかず家にいました。午前中までは、いつも通りにスターピープル達と話をしていたのですが、午後になって恵理さんの頭痛が今まで以上にひどくなりました。まるで頭の中を砂嵐が吹き荒れている様な状態で、スターピープルや創造主はおろか大天使ともコンタクトがとれません。どれだけ、一生懸命に語りかけても祈っても、砂嵐にかき消されて誰とも交信ができないのです。このような状態の時は、私達のスピリットの一部が捕えられているのではなくスピリット本体までもが、どこかに捕えられ、創造主やスターピープル達とのつながりが分断されているのです。

恵理さんが砂嵐の隙間から見える光景は、光40%前半の世界のようです。昨日、第20評議会の創造主から救い出してもらい、光の創造主達も気持ちを入れ替えたばかりなのに、なぜこのようなことが起きたのでしょうか。大天使やスターピープル達はいつも私達の周りを守護していますので、彼らの力が瞬時のうちに制限され、私達のスピリットの本体を奪い去ったという事は、かなり大きな闇の力を持った創造主の仕事だと思われま

す。ここに黙っていても仕方がないので、私達はこの場所から逃げ出す方法を考えました。最初に「宇宙の愛の根源」につながり自分達の波動をできる限り上げていきます。そうしなければ、深い闇の世界の波動に埋もれ、私と関わりのある存在ともつながれないからです。私は、黄泉の世界の番人であるマーベリックとアメリアを呼びます。するとしばらくして彼等がやってきました。

「TAKESHIさん、どうしたのですか、ここはあなた方がいる場所ではないのに、」
「私達も分からないのです。
気づいたらここに閉じ込められていて、誰ともコンタクトが取れないのです。
どうか、光40%台の創造主に助けを求めてください。
私がおりにいることを知らせて、光40%台の創造主から光50%台の創造主に連絡してもらってください。
そして光50%台の創造主から第20評議会の創造主に私達を助けに来るようにお願いしてもらってください。」
「分かりました。急いで連絡してきます。」
マーベリック達は急いで創造主のもとへと向かいました。

マーベリックは私のスピリットとも深い関係を持つマスターで、黄泉の世界を立て直す時に一緒に働いた仲間ですので信頼ができます。

現在は、スピリチュアル・レベルでも物理レベルでも光 50%以上の世界とそれ以下の世界が分けられているので、このような手順をとるしかないのです。

私達は、第 20 評議会の創造主を待つ間に、この世界の創造主によって救い出され、私達の世界と彼等の世界の境界線のような場所まで連れてこられました。

そこで待っていると、第 20 評議会の創造主と光の創造主、スターピープル達が私達を迎えにきてくれました。

「TAKESHI さん、大丈夫でしたか、急に皆さんの姿が見えなくなって私達は心配していました。」

「私達も、TAKESHI さん達をさがしていたのですが、見つからなくて困っていた所です。

もしかしたら、また光 40%の世界に連れ込まれたのではないかと調べていた所に、光 40%台の創造主が、TAKESHI さんの所在を連絡しに来てくれたので助かりました。」

光の創造主達は、前回、自分達の過ちから私達に迷惑をかけたので心配していたようです。

「おそらく一瞬のうちに私達は光 40%台の世界に引き込まれたようですが、その時一体何が起きたのか、誰がこのような事をしたのか、すぐに調べましょう。」

私は「流れをつくる創造主」を呼びだして、私達の時間をお昼頃までさかのぼってもらいます。

この頃、私と美輝はパソコンでアニメを見ている時間でした。

恵理さんは家の片づけをしていました。

そしてその時、この家を呑み込むくらい大きなゲートが開き、私達のスピリットはダークピープルによって瞬時に連れ去られてしまいました。

しかし、このゲートが開く前に、大きな闇のエネルギーが周りを包みましましたので、スターピープルや大天使達の力も奪われ何もできなかったようです。

このようなことができるのは、たとえダークピープルが実行犯だとしても、その裏には闇の創造主が関わっていることは間違いありません。

私達も、大天使達の力を抑えたエネルギーをさかのぼっていきます。

すると、とても大きなエネルギーを持った創造主が浮かび上がってきたのです。

私は第 8 評議会の創造主を呼びだして尋ねました。

「創造主よ、未だこれほどまでに大きなエネルギーを持った闇の創造主が残っていたのですか。

それとも異なる宇宙から来た闇の創造主ですか。

彼は、私達の評議会というと、どの程度の評議会にあたるのですか。」

その姿を見た第 8 評議会の創造主はすこし慌てた様子です。

「TAKESHI さん、暫くお待ちください。

すぐに調べてきます。」と言い残して消えてしまいました。

するとそこに第 20 評議会の創造主が現われました。

「TAKESHI さん、この創造主は、私が新たに配置した創造主です。

私が、彼と話をしてきましょう。」

と第 20 評議会の創造主はいぶかしそうな顔をして消えていきました。

第 20 評議会の創造主がしばらくして戻ってきました。

「TAKESHI さん、今回は大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。彼は決して悪気があって、皆さんのスピリットをさらっていったのではありません。私と話をするために、このような事をしたとっています。」

「という、私達はおとりに使われたという事ですか。彼は一体何者なのですか。」

「TAKESHI さんが、そうおっしゃるのも無理はないことです。彼は今まで他の宇宙を担当しており、つい最近戻ってきたばかりなのです。彼は本来、闇の創造主を生みだて育てる役目を担っている創造主で、皆さんの評議会で言うならば、第 15 評議会の創造主に当たります。私は、光 40% 台の地球がいつまでたってもまとまらず、皆さんのアセンションの邪魔ばかりをしているので、40% 台の創造主を統治し、皆さんの世界との完全分離を果たすために、彼をこの世界に呼んだのです。」

「その様なレベルの高い創造主が、私達のスピリットをさらってしまったのは何故ですか。私達が気付かなければ、地球のアセンションは失敗する可能性も大きかったはずです。」

「彼は、本来はその様なことをする創造主ではありません。創造主戦争の前に、彼は「始まりと終わりの創造主」から生み出され、他の創造主とも協力しながら、多くの宇宙の運営を手助けしていました。創造主戦争の間も、彼はどちらにもつかず、光と闇のバランスを取るために力を尽くしてきました。そして、彼を生みだした「始まりと終わりの創造主」が、理性を失い闇に飲み込まれていく姿も見てきました。彼は、闇の力の恐ろしさを最も知っている創造主かもしれません。それ以来、彼は常に冷静に物事を見るように心がけてきたのです。そして、彼はその経験から、闇の働きを持つ創造主が闇に飲み込まれないように指導し導いてきたのです。」

「そういう過去があったのですね。しかし、彼を生みだした創造主は闇に飲み込まれていきましたが、彼自身は闇に飲み込まれることはなかったのですか。」
私は第 20 評議会の創造主に尋ねました。

「彼は、闇と光は、常にバランスをとる必要がある事をよく分かっていました。本来、闇の働きを持つ創造主は、この宇宙に生きている生命達に様々な障害や感情による困惑、共同で解決しなければならない問題などを与えて、その生命達を成長させる事が本来の役目です。闇の働きを持つ創造主達は試練を与えることはあっても、その生命達を虐待したり支配したりすることはありませんでした。常に、光の創造主と一心同体となり、生命は勿論、宇宙の進化のために働いてきたのです。しかし、闇の働きを持つ創造主の多くが、自らの闇に飲み込まれ、多くの生命達に試練を与えて成長させるのではなく、自分本位の欲望によって、多くの生命達を利用し支配するようになりました。」

「私達の宇宙にいた闇の創造主達は、自分本位の考え方をする創造主ばかりでした。スターピープルを闇の中に閉じ込めたり、星々を戦争に導いて多くの生命が失われました。」

闇の創造主とはそういうものだと思っていましたが、本来はそうではなく、光の創造主と共に働くことが役目だったのですね。」

「そうです。

皆さんの宇宙の創造主の多くが彼から指導を受け、闇の働きをする創造主として、光の創造主と共に、皆さんの宇宙の進化のために働く予定でした。

しかし、彼が他の宇宙の創造主を指導するために皆さんの宇宙を離れている間に、創造主達の様子が変わってしまったのです。」

「それは、彼を生みだした創造主である「闇とひとつになった創造主」の影響によるものですか。」

「もちろん、その影響は大きいと思われます。

あるいは、皆さんの宇宙に入り込んできた異なる宇宙の創造主達の影響もあるでしょう。

どちらにしても、彼の指導を受けた闇の働きをする創造主達は墮落してしまい、闇に飲み込まれてしまったのです。

彼が、皆さんの宇宙に戻ってきた時、彼が生み出し導いてきた闇の働きをする創造主達はほとんどいなくなっていました。」

「それは、私達が多くの創造主を光に帰したり、地上に降ろしてしまったからですか。

彼はその事を怒っているのではないですか。」

「闇の働きをする創造主が、自ら闇に飲み込まれていったのですから、それは仕方がないことです。

彼は、あなた方を恨んだりするよりも、自分の力の無さを悔やんでいました。」

私は、この創造主に少し申し訳ない、という気持ちになりました。

「彼は、闇に落ちた創造主達の事をととても残念に思っていました。

そして、闇の働きをするための創造主をまた育てたいと言っていました。

今回の事件は、私が、皆さんの宇宙の光 40%台の世界の創造主を彼に任せようと思い、彼を呼び戻したのですが、私が今迄の事をしっかりと説明していなかったために、彼はどのように動いたらよいか分からなかったのです。

私も、彼と話をするための時間を取らなかったのも、皆さんをおとりにして、私を引っ張り出し、話をしようとしたのです。

どうか、今回の事は許してあげてください。」

第 20 評議会の創造主から、許してあげてくれと言われると逆らうこともできません。

私達にとっても、そのような素晴らしい創造主が、光 40%台の宇宙を担当してくれるなら、それはとてもありがたいことです。

今まで、光 40%台の創造主による様々な事件も、創造主の未熟さゆえの事でしたから、彼がしっかりと指導してくれるのならば、私達も安心です。

これからは、私達の宇宙と光 40%の世界の境界を破ってネガティブなエネルギーが流れ込んで来たり、物理世界に生きている人々を通じて私達を攻撃するような事も少なくなってくるでしょう。

私は、アシュタールのエレナさんにこの状況の変化をどのように考えるか聞いてみました。

エレナさん達スターピープルにとってみれば、これは大きな変化です。

「TAKESHI さん、私達も、新たに配属された創造主の事はよく分からないのですが、上の創造主達の話を知るととても厳しくて妥協を許さない創造主のようです。」

創造主達が闇に飲み込まれないように徹底して指導をする事がこの創造主の役目のようですから、私達にとってはとても頼りになる働きをしてくれると思います。

私達のアセンションの歴史は、闇に落ちた創造主やダークピープルとの戦いの歴史でしたから、それが終わるとすれば、これ以上嬉しいことはありません。」

「私もそう思います。

光 40%台の創造主やダークピープル達が光 50%以上の世界に干渉できなくなれば、アセンションの完成も一気に進むことでしょう。」

ロッド星人達もうれしそうです。

PART3 「闇の創造主を統括する創造主」との対話

その翌日、例の創造主本人が、私達に直接コンタクトを取ってきました。

第 20 評議会の創造主や他の創造主達ときちんと話ができて状況がしっかりとつかめてきたようです。

「TAKESHI さん、そして恵理さん、美輝さん、先日は大変申し訳ありませんでした。

第 20 評議会の創造主から、私が光 40%台の宇宙の創造主を統治すると言われて、この宇宙に戻されたのですが、この宇宙の現状を全く知らされておりました。

私が戻ると、私が育てた多くの創造主達は姿を消しており、しかも地球のアセンションの真ただ中で、今の宇宙とは大きく状況が変わっておりました。

私は、第 20 評議会の創造主様にこのような状況をどのようにしたいのか、確認したかったのですが、いつも今は忙しいと言われて、答えを得ることができずに困っておりました。

その様な折、皆さんが闇の創造主達に捕えられた時、第 20 評議会の創造主様がすぐに助けに来てくれたことを見ておりましたので、第 20 評議会の創造主様と話をするためには、この方法しかないと思い、皆さんをとらえてしまいました。

私は決して、皆さんを傷付ける気持ちも、皆さんの光を奪おうという気持ちもありませんでしたので、どうかお許してください。」

私は、この創造主の言葉やエネルギーを見て、とても正直で実直な性格をしたこの創造主の事が少し好きになりました。

「創造主よ、この件の事は私達も良く理解できましたので気になさらないでください。

それよりも、あなたの働きやこれからの事をどのように考えているか教えてもらえませんか。」

「わかりました。

私よりも古い 4 大創造主様が復活しているところを見ると、TAKESHI さん達も創造主大戦争の事はご存じだと思いますが、私はもともと創造主大戦争を引き起こした「始まりと終わりの創造主」から生み出されました。しかしながら彼のエネルギーだけではなく「光と闇のバランスを取る創造主」のエネルギーも加えて生み出されましたので、創造主大戦争の時もお互いが争うことなく協調し合うように「始まりと終わりの創造主」に働きかけておりました。

しかしながら、どんどん闇に飲み込まれていく創造主は、私の言葉など聞くこともなく対立を深めていったのです。

彼は、私に対して他の4人の創造主から光を奪うように命じてきましたが、私は本来、光と闇のバランスを取るための仕事もしておりましたので、その指令がどれほどばかげているかよく分かっていました。ただ、私も「始まりと終わりの創造主」には逆らえませんが、彼に従うふりをしていました。やがて、4人の創造主は闇の中に封印されて行方知らずになり、偉大なスターピープルの多くも消えてしまいました。

行方不明となった4人の創造主が生み出した多くの創造主達は、「始まりと終わりの創造主」から闇の封印を付けられ、「闇の創造主」達に反抗できないようにされてしまいました。

創造主戦争が終わってしばらくすると、「始まりと終わりの創造主」も大きくなりすぎた自分自身の闇の中に引きずり込まれてしまいました。

そして「始まりと終わりの創造主」によって生み出された創造主達も、彼と同じように闇の中に飲み込まれていきました。

「始まりと終わりの創造主」によって生み出された創造主は、私を含め数名しかいませんでした。

しかし、闇と一体となった「始まりと終わりの創造主」のエネルギーと意思は全ての宇宙に満ち溢れていったのです。

第20評議会の創造主様と私達は、長い時間をかけて、残された創造主達から闇の封印を取り除き、自由に活動できるようにしていきましたが、彼らの心の中には闇に対する恐怖が残ってしまいました。

そして「始まりと終わりの創造主」の系列の創造主は、闇に飲み込まれなかった創造主でも、自分の中に多くの闇のエネルギーを取り込んでしまい非常に自己中心的な創造主になってしまいました。

そのために、第20評議会の創造主様は「闇に落ちた創造主」を本来の「闇の働きをする創造主」として新たに教育をし直すことを私に命じられたのです。

それ以来、私は「闇の創造主を統括する創造主」とよばれるようになりました。

私は、2度と創造主大戦争のような愚かな過ちを起こしてはいけないと思い、厳しく指導にあたりました。

しかしながら、この宇宙に満ち溢れている闇の中には、闇と一つになった「始まりと終わりの創造主」の狂気が交じりこんでいます。

この狂気に取り込まれると、どれほど優秀な創造主であっても理性を失い自己中心的な闇の創造主になってしまいます。

これだけは、私がどれほど力を尽くしても、防ぎきれないことなのです。」

「闇の創造主を統括する創造主」よ、あなたの苦しみが、私達にも伝わってきます。

あなたが「始まりと終わりの創造主」のように闇に飲み込まれなかった事が、私達の宇宙にとっても幸いでした。」

「それも、TAKESHIさんの親でもある「光と闇のバランスを取る創造主」に光を頂いていたからです。

そうでなければ、私も「始まりと終わりの創造主」のように闇とひとつになっていたことでしょう。

私は、復活された「光と闇のバランスを取る創造主」のもとに戻り、彼と共に歩むことをお願いしました。」

「光と闇のバランスを取る創造主」も喜んでくれたことでしょうね。」

「もちろんです、そして「光と闇のバランスを取る創造主」の物理次元の姿であるTAKESHIさん達をしっかりと守護してくれと言われました。」

「そうだったのですか、よろしくおねがいします。」

私は、照れくさく笑いました。

「それでこれからは、どのような働きをするのですか。」

「まず最初に行う事は、皆さん方が進めているアセンションを完成させることです。私は、光 40%台の創造主、特にこの世界にいる闇の創造主や異なる宇宙の創造主から影響を受けている創造主達を厳しく管理し指導します。彼らや彼らの手先となっているダークピープル達が、これ以上皆さんの世界に手出しが出来ないように、その手口を調べ上げ、取り締まりたいと思います。特に皆さんに関わろうとしているダークピープルや地球の物理世界にいる人を利用しようとしている存在の動きを封じます。」

「それは大切なことですね。しかし問題は、地球の人々がダークピープルやダークエンジェルに騙されて一体化していることです。地球の人々は、スピリチュアルな存在が全く見えませんので、意識をコントロールされて利用されているのです。」

「そのことも調べがついています。もし地球人が、ダークピープル達と共に活動する意思がないのなら、私はダークピープルと地球人を切り離すこともできますので、個別に調べながら分離を試みましょう。」

「地球人とダークピープルが分離できるのですか。」
「全ての地球人を分離できるわけではないのですが、だまされて一つになっている人であれば分離してあげなければかわいそうでしょう。ダークピープル達の手口も分かりましたので、そのことをまず行いたいと思います。」
その話を聞いていたスターピープル達も大喜びです。

「TAKESHI さん、「闇の創造主を統括する創造主」が 40%台の世界から、私達の世界を切り離すお手伝いをして下さることになりました。これは私達にとっては、とても重要なことです。いままで、光 40%台のダークピープルや創造主によって、私達の世界はかき回されていまして、「闇の創造主を統括する創造主」が光 40%台の世界から、ダークピープルや闇の創造主の動きを止めてもらえれば、アセンションが今まで以上に進むことは間違いありません。」とロッド星人が喜びの声をあげています。

「闇の創造主を統括する創造主」は、私達の宇宙の評議会では、第 15 評議会に属する創造主のようですが、現在いる第 15 評議会の創造主達よりもかなり古い創造主のようです。立場的には、第 16. 17 評議会の役目も兼ねているようです。その上は、先日復活した 4 人の超古代創造主が属する第 18、第 19 評議会となり、その上は、全ての宇宙を統括する第 20 評議会の創造主になるようです。

第7章 太陽種族の誕生を阻む者たち

PART1 大天使ミカエル「破邪の剣」 & 大天使ウリエル「導きの光」の一斉アチューメント

アセンションの完成に向けて、私達は大天使や聖母マリア達と共に12月から一斉アチューメントを行ってきました。

これは、ダークピープルやダークエンジェルによって騙され、スピリットを捕えられている人達から、ダークエンジェル達を切り離し、人々のスピリットを救い出すために企画されました。

そして、前回、完全に行うことが出来なかった光50%以下の世界と光51%以上の世界を再度分離するために、時期を早めて行われることになったのです。

創造主の中には、光40%台の世界に残っている人でも、自分の意思ではなくダークピープルや闇の創造主のたくらみによって光の世界に行くことを妨げられている人達がいるので、そのような人を救出したいと考えている創造主も沢山いました。

そのために、地球の完全分離が終了する前に、12月から3回にわたって一斉アチューメントを行い、アチューメントに参加した人達を通して、多くの人々を救い出す計画を立てたのです。

しかしこの計画には大きな欠点がありました。

それは、光40%台の世界のダークピープルや闇の創造主達が、一斉アチューメントに参加する人々のゲートを使って、光50%以上の世界に入ってくるきっかけを与えてしまった事でした。

今回、スーパームーンの時に起こったことがまさにその事だったのです。

光の創造主も闇の創造主に騙されて、私達の世界に闇の世界とのゲートを開いてしまい、光50%台の世界に大きな闇のエネルギーを流し込んでしまったのです。

そのために、スーパームーンの時に行うはずだった光40%台の地球と光50%台の地球の完全分離は上手く行きませんでした。

その失敗を取り戻すために、2月21日に行われる予定だった一斉アチューメントの時期を早めて2月6日に行う事にしましたのです。

大天使やスターピープル、そして前回の過ちを挽回しようと光の創造主達はしっかりと準備を行っています。そして「闇の創造主を統括する創造主」も、私達のお手伝いをして下さることになりましたので、今度こそ光40%台の世界と光50%台の世界の分離がうまくいくことでしょう。

当日は200名以上の方達が、一斉アチューメントを受けて下さったので、スターピープル達も創造主の協力を得て、物理世界の分離に成功したようです。

もちろん、地上に住む地球人達の世界が、これで完全に分けられた訳ではないのですが、これから多くの人達が異なる方向に向かって進み始めますので、地上でも波動が異なる人達とは会う機会がどんどん少なくなっていくことでしょう。

しかしまだ油断はできません。

再開された恵理さんのセッションでも、まだ光 40%台の世界のエネルギーの中にいる人達からは、すぐにその世界のゲートが開き、ダークピープル達やダークドラゴンたちのエネルギーが入ってきます。

私達は、何度か自分たちのスピリットの一部を奪われたリシェンロン達を囚われたりしながらも、スターピープルや「闇の創造主を統括する創造主」の力を借りて、闇が多い世界に捕らわれた人々のスピリットを開放していきました。

「闇の創造主を統括する創造主」も、自分が思った以上に、私達の宇宙の闇が深くなっていることに驚いています。

「TAKESHI さん、この世界の状況をみて、私も驚いています。たとえ闇が大きい創造主でも、人のスピリットの一部を捕えたり、人々から光を奪う事はしないはずですが。しかし、この世界では、それが普通に行われています。私は、この世界の事をもっとよく調べ、適切な形に修正したいと思います。」

「闇の創造主を統括する創造主」も、この世界のダークピープル達の処理に困っているようです。私達も、出来る限り協力しながら、アセンションを勧めたいと思います。

PART2 太陽種族の誕生を阻むダークピープル達

私達は、まだ物理世界で繋がっている人を通して、物理世界の分離や光の世界に行く予定の人々のスピリットの救出を行っています。

物理世界の大きな分離が済んだとはいえ、1人1人の人を適した世界へ分ける作業はまだ残っています。今回のアセンションは、その主役である地球人がアセンションの事を全く知らないために、地球人自らがアセンションのために努力するという事がほとんどありません。全てがスターピープル達に任せられていますので、スターピープル達の苦労は大変なものです。

そのような時、恵理さんが夢の中で、古びた廃墟のようなデパートの中を1人でさまよっている夢を見ました。このような時は彼女のスピリットの一部が、闇の多い世界に捕らわれている場合が多いので、スターピープル達に連絡を取って助けに行きます。きっと、物理世界の人々を通して、恵理さんと接触し、彼女のスピリットを捕えたのでしょう。

ただ、スターピープル達は光 40%台の世界にはもう入れないので、「闇の創造主を統括する創造主」とこの世界のスターピープル達にお願いして、恵理さんのスピリットを探してもらいます。すると、その廃墟のようなデパートの中には、恵理さんだけでなく、たくさんの人々のスピリットがさまよっています。そしてデパートの屋上では、10 数人の子供達のスピリットが遊具で遊んでおり、その中には、私達の子供である美輝のスピリットも交じっていました。恵理さんのスピリットだけでなく美輝のスピリットまでも奪っていったようです。子供達は、無心で遊んでいるのですが、その光景は色あせたセピア色の写真のように見えます。

私は「闇の創造主を統括する創造主」に言いました。「創造主よ、彼らのスピリットを捕えているダークピープル達を探し出して下さい。」

もっと多くのスピリット達が捕えられているはずですから。」

「TAKESHI さん、ここにいる人達は自分の意志でここにいるようです。彼らは現実逃避をして、この世界に引きこもっているのではないのでしょうか。これは、彼ら自身の選択ではないかと私は思います。皆さんのスピリットは、彼らから、こちらの世界に引き込まれたようです。」

私は、自分の意識をこの場所に飛ばして調べると、さまよっている人々はうつろの目をして、自分のしっかりとした意識を失っているようです。

私は、彼らのエネルギーの中に、自分の意識を投影すると、彼らの後ろにダークピープルの姿が見えてきます。彼らは、以前私達が戦った地球の未来から来たダークピープルと姿が似ています。爬虫類のような顔をしています。金属製の服を身にまとい、とても高い英知を持っているようです。鹿兒島の桜島をはじめ、世界各地の火山に仕掛けられた地球の波動を高めるための機械の設定を妨害してアセンションを遅らせようとしていた非常に高い技術力を持った存在にそっくりです。彼らは「プレデター」という映画に出てくる異星人によく似ているので、私達は、彼らの事を「プレデター」と呼んでいます。

私は、彼らがどこから来ているのか調べるためにピカフラッシュをこの世界に投入して、このダークピープルのエネルギーを調べてもらう事にしました。

ピカフラッシュは、この場所に捕らわれているスピリットのまわりを巡りながらエネルギーのラインを探し出しています。

突然ピカフラッシュの動きが早くなり一方向に向かって走り出しました。

ピカフラッシュが、中心となるダークピープルの存在を見つけだしたようです。

ピカフラッシュは更にダークピープルのリーダーを調べ、その後ろにあるエネルギーラインをたどり始めました。これで、このダークピープルが、どこから来たのか、誰に操られているのかははっきりとする事でしょう。

「闇の創造主を統括する創造主」よ、やはり彼らはダークピープルに操られているようです。物理世界の事ですから創造主には見えにくいのですが、彼らは人間の意識の中に隠れ、人間を内側からコントロールして、多くのスピリットをここに集めていたのです。

これからピカフラッシュが、ダークピープル達がどこから来たのか調べますので手伝ってあげてください。もしかしたら、時や次元を超える可能性もありますので、行く手を開いてあげてください。」

「TAKESHI さん、わかりました。

私も、ダークピープルがこのようなところに隠れて人々を操っていたという事に気づきませんでした。

私も一緒にピカフラッシュの後を追いましょう。」

「闇の創造主を統括する創造主」はすぐにピカフラッシュの後を追います。

するとピカフラッシュは、はるかな未来へと入っていきます。

おそらく1万年くらい先の未来でしょうか、ちょうど太陽種族がスターピープル達をリードして、大きな活躍を始めた頃のようなようです。

PART3 未来から来たダークピープルと闇の創造主

その様子を見ていた太陽種族のフレッドが困ったような顔つきをしています。

「TAKESHI さん、彼らは私達と同じ時代からやってきた者達です。

彼らは、太陽種族が、地球のみならず天の川銀河に広がり、活躍する事を快く思っていませんでした。

彼らの考え方と私達の考え方がかなり異なっていたからです。

その為に、彼らは私達の時代で、反乱を起こしました。

その当時の彼らは、とても技術力が高く、優秀なスターピープルとして活躍していたのですが、自分達がリーダーでなくなるという事が気に入らなかったようで、私達の活動をよく妨害してきたのです。」

「そのような種族がこの時代にやってきたのは、皆さんの誕生を阻止するためですか。」

「私達は、彼らがこの地球や皆さんの宇宙に関われない様に、他の宇宙に彼らを幽閉したのですが、もしかしたらそこから抜け出したのかもしれない。」

「それは大変な事です。

彼らがその宇宙にまだ残っているかすぐに調べてもらえますか」

「分かりました、すぐに調べてきます。」

そういって、太陽種族のフレッドは創造主と共に、別の宇宙に彼等がまだ幽閉されているか調べに行きました。

もし彼らがその宇宙を抜け出しているとしたら、闇の創造主が手助けした可能性もありますので、そちらも調べなければなりません。

私は、第8評議会の創造主を呼び出しました。

「第8評議会の創造主よ、この件の事は何か知っていますか。」

「ええ、私達もこの事を引き起こした闇の創造主を追っているところです。」

上位の創造主達は、もうすでに、この未来の存在達が幽閉されていた宇宙から逃げ出して、私達の時代に来ていることに気づいていたようです。

しばらくするとフレッド達も戻ってきました。

「TAKESHI さん、やはり彼らは閉じ込められた宇宙にはいませんでした。

誰かが、この宇宙のゲートを開いて開放したようです。

この地球で、最初の太陽種族の遺伝子を持つ美輝さんが捕えられたのも、太陽種族の事を恨んでいる彼らならば、当然行う事です。

彼らは、本気になって太陽種族の誕生を邪魔してくるでしょうから、早く捕えなければいけません。」

「闇の創造主を統括する創造主」も、太陽種族の事を上位の創造主から聞いていたようですので、自分も協力する事を伝えてきました。

その時、私達の周りを歩いて遊んでいた美輝が急に背中から倒れて頭を打ってしまいました。

まるで誰かに胸を押されて倒されたような感じです。

そして生えてきたばかりの2本の歯で、口の中を切って血を流しながら大泣きを始めました。

私達は急いで、子供を抱きかかえ止血しましたが、なかなか血が止まりません。

その時、恵理さんの心に言葉が響いてきました。

「太陽種族を生み出すことから手を引け。

これは警告だ、

これ以上、太陽種族に関わるな。」

これは、子供を捕えていたダークピープルからの警告ですが、このような警告を出すこと自体、彼らが追いつめられているという事です。

私達がこの警告に怖気づいて、自分達を探し出す事を止めるだろうと考えたようですが、そのような警告をするだけ無駄です。

彼らが、私達の心の中に入って来た事で、彼らの探索が更に簡単になります。

私は時間を自由に操作できる創造主を呼び出しました。

「流れを作る創造主」よ、すぐに来て下さい、

彼らを幽閉していた宇宙の未来に入って、誰が彼らをこの宇宙から救い出したのか、私達に見せて下さい。」

「流れを作る創造主」は、私達の前に来ると、まるで映画でも見せるかのように、未来人である彼らがこの宇宙に連れて来られ幽閉された場面や一人の創造主がこの宇宙にゲートを開き、彼らを救い出しているところなどを見せてくれました。

「やはり、太陽種族の誕生を良く思わない創造主が、後ろで糸を引いていたようです。

太陽種族に敵対する種族を捕らわれていた宇宙から助け出し、今の時代に連れてくることで、地球のアセンションと太陽種族の誕生を妨害しようとしたのです。」とフレッドが言いました。

「闇の創造主を統括する創造主」も、その種族を助け出した創造主を見て言います。

「この創造主は、「始まりと終わりの創造主」から作り出された創造主でいつの時代でも闇の中に紛れて行動していた創造主です。

私も彼の行動をいつも警戒していたのですが、今回は地球のアセンションの邪魔を行っていたようです。

私が行ってすぐに捕まえてきましょう。」

そうとう「闇の創造主を統括する創造主」をはじめ、第8評議会の創造主など数名が、ピカフラッシュと共に、闇の創造主を探しにいきました。

太陽種族のフレッドは、その姿を目で追いながら不安な気持ちを隠せないようです。

「TAKESHIさん、私達も彼らがあの宇宙から出てくるとは思いませんでした。

彼らは、私達の事を恨んでいるようですから、これから何をしてくるか分かりません。

この段階で、彼らの事をつかまえることができればよいのですが。

「闇の創造主を統括する創造主」が、私達の事を助けてくれて本当に良かったです。」

しばらくすると「闇の創造主を統括する創造主」が、1人の闇の創造主を連れて戻ってきました。

この創造主が、太陽種族に敵対する種族を異なる宇宙から助け出し、自分の部下として使っていたようです。もしかしたら、未来から来た種族だけでなく、他にもこの創造主に利用されている者達がいるかもしれません。

私は、この闇の創造主のゲートを使って、太陽種族に敵対していた種族を探し出すことにしました。

「それでは、この創造主のゲートを開いて、彼が助け出した未来種族やダークピープル達を全て探し出して下さい。

そして、それぞれの種族を調べ、この創造主の目的を明らかにしてください。」

光50%以上の世界のスターピープルだけでなく、光40%台の世界を守護するスターピープルや創造主達も一緒にあって、この創造主のゲートから次々とダークピープル達を探し出していきます。

時間が経つとともに、彼のゲートからは、多くのダークピープル達が姿を現してきました。

中には、私達がアセンションを行うに当たって大変な妨害をしてきたダークピープルや他の宇宙から私達の宇宙に攻め込んできたダークピープルもいます。

「未来から来た種族も、本来はすぐれた技術力を持っていたスターピープルだったのですが、今では闇にとらわれてダークピープルになってしまいました。

それと同じように、他の種族も元はスターピープルだったかもしれませんが、この闇の創造主に利用されることでダークピープルになってしまったのではないのでしょうか。」と太陽種族のフレッドは言いました。

ロッド星人も、出てきたダークピープルをみて言います。

「それぞれのダークピープル達は個別に動いているのだと思っていましたが、この闇の創造主が裏から支持を出していたようです。

私達には分からない様に、様々な創造主とダークピープルを使って、地球と皆さんの宇宙がアセンションしない様に彼らは行動していたのでしょうか。

彼らは、闇の創造主が支配している宇宙を光の創造主達に取られなくなかったのでしょうか。

彼らは、「闇とひとつになった創造主」の意思を受け継ぎ、光の創造主達の邪魔をしていたのです。」

アシュタールのエレナさんもその様子を見て言いました。

「彼らは全て裏でつながっていたのですね。

そしてこの闇の創造主の指示で行動していたのだとすれば、これほど短期間にいくつもの宇宙のダークピープル達が地球に攻め込んできていた理由が分かります。

そして光の創造主がいつも騙されたり、アセンションの大切な時期にトラブルが起きて上手くいかなかったのも、彼ら闇の創造主が仕組んだシナリオだったのです。」

第8評議会の創造主もずっとこの闇の創造主の事を調べていたようです。

「TAKESHIさん、彼らは今まで表には出てこなかったのですが、地球の物理世界の最終分離を前にいくつもの計画を立てていたようです。

その計画がすべて実行される前に、彼らを捕まえることが出来て良かったです。

この闇の創造主は、光に返すことが出来ますが、どうしますか。」

「そうですね、彼の処理は、「闇の創造主を統括する創造主」にお願いした方が良いでしょうね。」

「闇の創造主を統括する創造主」も、私の言葉を聞いて頷きます。

「この創造主は、他に何か行っていた形跡もありますのでそれを調べ終わったら光に返しませう。

ダークピープル達は、もう TAKESHIさん達とは関われない世界に分離していきます。」

フレッドをはじめ太陽種族を生み出す責務を負っていたスターピープルたちは、この未来種族や他のダークピープル達との直接対決を速やかに回避できてとても喜んでいます。

これで太陽種族の誕生を阻止しようとしていた一大勢力はいなくなることになりしますので、太陽種族の誕生は、更に可能性が高くなったと言えるでしょう。

やはり、太陽種族のフレッドはこのような事が起きることを見越して私達の時代に来ていたのですね。

PART4 隠れていた闇の創造主の系譜

太陽種族に敵対する未来種族が捕えられた翌日、私は第8評議会の創造主に、この創造主がどうなったか聞いてみました。

「TAKESHIさん、実は大変なことが分かりました。

この創造主には仲間がまだいるようです。

この創造主を調べていると他の創造主と共同で行った計画も明らかになってきたのです。

しかしながら、私達も必死で探しているのですが、他の創造主が見つからないのです。」

これは急いで探さなくてははいけません。

彼らも仲間の一人が捕まったことで、次は自分達も見つかるかも知れないと思い、私達に攻撃を仕掛けてくるのは間違いないでしょう。

私達が今朝見た夢もやはり、40%台の闇のエネルギーが私達を襲ってくる夢でしたので、彼らは更に大きなサイキックアタックを仕掛けてくるでしょう。

私は「闇の創造主を統括する創造主」を呼び出しました。

「闇の創造主を統括する創造主」よ、第8評議会の創造主が、昨日捕まえた創造主に仲間がいることを伝えてきましたが、あなたはその仲間達を知っていますか。」

「私も、第8評議会からそのことを聞いて調べていました。

「闇とひとつになった創造主」が生み出した創造主の中で、TAKESHIさん達によって光に返されていない創造主がまだ何人残っているか調べたところ、あと6人ほど残っていることが分かりました。

私も、その6人の闇の創造主の行方を捜しているのですが、姿を消しているようで見つけることが出来ないのです。

ただし「闇とひとつになった創造主」や他の闇に落ちた創造主が新しい創造主を生み出していれば、彼らの仲間はもっと多いかもしれません。」

私はピカフラッシュを呼び出しました。

「第8評議会の創造主よ、まだ昨日捕まえた闇の創造主はいますか。」

「もちろん、まだこちらにいます。」

「それでは、ピカフラッシュに残りの創造主を探させますから、光の創造主の皆さんはサポートして下さい。

「闇の創造主を統括する創造主」もお願いします。」

ここに集まっている創造主達は全員頷きました。

ピカフラッシュは、闇の創造主のエネルギーをたどっていきますが、かなり手間取っているようです。

様々な光景が交互に映し出されますが、どこも行き止まりになってしまいます。

きっと自分のエネルギーの繋がりを様々なところを経由して隠しているのでしょう。

しかし、ようやく1人の創造主の姿が見え始めました。

その創造主は一生懸命、逃げ隠れしているようですが、光の創造主達に取り囲まれ捕えられてしまいました。

次は、この創造主のエネルギーラインを調べると、さほど遠くない場所にあと2人の創造主が隠れていました。

きっとこの3人組は常に行動を共にしていたようです。

そして昨日捕まえた創造主を使って現実世界へ介入していたようです。

ただ、この創造主が捕えられることを予測して、自分達とのつながりが分からない様にエネルギーのラインを隠していたのです。

私は、「闇の創造主を統括する創造主」に、この3人の創造主はあなたが知っている創造主であるか、たずねました。

「そうです。

私が捜している6人の創造主の中の3人です。

彼らは、おおよそ第7から第9評議会レベルの創造主ですが、評議会には入っていませんので TAKESHI さん達と会う事もなく隠れていたのだと思います。

私も「闇とひとつになった創造主」がまだ「初めと終わりの創造主」の時代に作った創造主が数名残っているので、その系列の創造主には注意を払っています。

この3人は、系列的には中くらいの位置に属する闇の創造主です。」

「という事は、まだ力を持った創造主がいるという事ですか。」と、私は尋ねます。

「もちろんです、残りの3人は、かなり力を持っている創造主です。」

私は、あわてて光の創造主の中でも上位の創造主を呼びました。

そして、上位の評議会の中で活躍しているピカフラッシュも呼び出しました。

「TAKESHI さん、そんなにあわてなくても、みんな揃っていますよ」第18評議会の創造主が答えます。

「そうですね。」

それでは皆さんの力を合わせて、闇の創造主を捕まえましょう。」

私はピカフラッシュに、今捕まえた3人の創造主のエネルギーを調べてもらい、彼らと同じ系列の創造主を探してもらいます。

しかし、相手も大変な力を持っている創造主ですので簡単にはいかないようです。

私達の宇宙の上位の創造主達も、様々な方法で彼らの居場所を突き止めようとしているのですが上手くいきません。

彼らは、様々な世界や時間の中を巧みに逃げ回っています。

恵理さんの目にも、先ほど以上に様々な光景がフラッシュのように瞬いて見えます。

「TAKESHI さん、ようやく彼らの移動パターンが分かってきました。」

私達で、彼らの動きを止めることが出来そうです。」創造主の1人から連絡がありました。

創造主達が、大きな包囲網を作っている様子が目に映ります。

やがて、光の創造主が3人の闇の創造主を捕まえたようです。

「TAKESHI さん、ようやく捕まえることが出来ました。」

これで安心です。」

光の創造主達が喜んでる様子が伝わってきます。

この創造主達は、第20評議会の創造主が引き取ってこれから調べを行う予定です。

私は「闇の創造主を統括する創造主」を呼び出しました。

「「闇の創造主を統括する創造主」よ、今回捕まえた創造主について教えて貰えますか。」

「はい、彼らは皆さんの評議会という第13評議会から第15評議会の力を持っている創造主達です。」

特にリーダーの創造主は、「闇とひとつになった創造主」がまだ「始まりと終わりの創造主」である時に生み出された創造主で「闇をコントロールする創造主」と呼ばれています。

私と彼は、ほぼ同じ時期に生み出されて、共に「始まりと終わりの創造主」を助けながら活動していました。私にとっても深い関係を持つ創造主ですが、私が「創造主大戦争」の時に中立的な立場を取った事に対して大きな怒りを持っていました。

「始まりと終わりの創造主」が闇に飲み込まれた時、私は彼も一緒に闇に飲み込まれると思っていたのですが、彼は闇に飲み込まれず、創造主としての体裁を保っていました。

今になって思えば、それは「闇とひとつになった創造主」が、いくつもの宇宙を統治するためにあえて、彼をこの世界に残していたのだと思います。」

「闇の創造主を統括する創造主」と「闇をコントロールする創造主」の間で、何か問題は起きなかったのですか。」と私はたずねました。

「もちろん、様々な問題がありました。

当初は、闇の創造主の方が光の創造主よりも力が強く、いくつもの宇宙は闇の創造主が取り仕切っていました。私は、闇の創造主の系譜にありながら「始まりと終わりの創造主」の手助けをしなかったことで、彼らから常に責め苛まれていました。

しかし、その様子を見た第 20 評議会の創造主様が私を助けて下さり、闇に落ちた創造主達を一掃するために、多くの闇の創造主を光に返しました。

しかしながら、光に返される前に逃げ出した闇の創造主が数名いて、彼らは常に光の創造主に影響を与え、宇宙の闇を深くしてきたのです。

その創造主達も、TAKESHI さん達の活動によって大分少なくなってきたのですが、その残りの創造主が今回捕まえることが出来た創造主達です。」

「今回捕まえることが出来た創造主達が、私達の宇宙や地球の闇が深くなった原因なのですか。」

「いえ、彼らだけが原因というわけではありません。

彼らに騙されたり影響を受けた光の創造主の力不足もそうです。

あるいは地球や星々に住む種族達も、もっとしっかりとした気持ちを持っていれば、これほど深い闇を持った宇宙にはならなかったでしょう。

しかし、彼らの力は巨大ですから、それも仕方がなかったかもしれません。

彼らがアセンションの崩壊を狙って、かなり昔から活動していたのは事実ですから。

私が、この宇宙を離れて他の宇宙に仕事に行かされたのも、彼らの企みだったかもしれません。

私も、彼らの動きにずっと注意していたのですが、今回捕まえることが出来てよかったです。」

PART5 これからの道

「闇の創造主を統括する創造主」が、私達の宇宙に戻ってきてくれたおかげで私達の宇宙を脅かしていた闇の創造主達も捕まえることが出来ました。

そして「闇とひとつになった創造主」から新たに生み出されていた創造主達も、私達にサイキックアタックをかけてきたのですが、そのアタックも無事に防ぎ、彼らを捕えることもできました。

これで、細かい事はこれからも起きるかもしれませんが、大きな問題は大分片付いたようです。

恵理さんのお腹の中には、2 人目の太陽種族の子供も宿り始めたようです。

これからは、太陽種族の子供も安心して産めそうですね。

もうすぐ 3 月、地球の物理世界の完全分離が終了する時期が近づいてきました。

スターピープル達は、51%以上の世界の細かい分離に入りました。

51%以上の世界に入る人の区分基準は、愛の強さだけでなく地球人としての進化具合やスターピープルへの理解も判定材料に入ります。

つまり、51%以上の世界に来る人の愛の度数はそれほど変わらないようですが、地球人がスターピープルとして進化していくことを望むスピリットを持つ人達がより光が大きい世界へと入っていくようです。

光 51%から 55%の世界では、素直で優しい人達がたくさんいたとしても、地球人の進化やスターピープルに対する知識もなく、スターピープルとの交流が始まっても混乱する事が多い様ですので、しばらくは地球人だけで進化の道を歩むことになりそうです。

ただ、今までとは違って闇よりも光が多い世界ですから、これからの学びはとても楽しいものとなるでしょう。地球人として新たな視野を持ち、地球の人々同志で協力しながら地球をもっともっと良くしていくための学びが始まるのです。

光 56%から 59%の世界に来る人は、愛の度数も高くなくてはいけませんが、それと共に地球人として進化を行い、他の星々のスターピープルと協力することが出来なければなりません。

スターピープルが、地球人とファーストコンタクトを行い、スターピープルが地上に降りて地球で共に暮らし始めたとしても温かく迎え入れ、自分達の友人や教師として敬意をもって付き合うことが出来なければならぬのです。

スターピープルに恐れや敵意を抱いたり、依存心を抱くような人は光 56%以上の世界には入れないでしょう。

特に光 58%や 59%の世界では、地球のアセンションの最終目的が、地球人と多くのスターピープルが協力し合って、天の川銀河の統合の種族である太陽種族を生み出す事ですので、スターピープルと協力してその準備に入らなければなりません。

そして、地球の統一政府が生まれ、地球の国や人種を超えた地球人として、スターピープルと共に宇宙に飛び出していく日を迎えることが出来るでしょう。

このアセンション・ブックを読んでいる皆さんには、まだ想像もできない事かもしれませんが、その日は思ったよりも早く来ると私は信じています。

アセンションの目的について

今まで様々な創造主やスターピープルと共に活躍してきましたが、それぞれの立場によってアセンションの目的が異なるようですので、分かりやすくまとめました。

上位の創造主 第20～第16評議会

- ・ 創造主大戦争の影響によってできた闇が多い宇宙を光が多い宇宙へと変えるために私達の宇宙をアセンションさせ、その模範とする。
- ・ 超古代創造主とスターピープルを復活させて光が多い宇宙を新たに生み出す。
- ・ 闇に落ちた創造主をとらえ、宇宙の混乱を鎮める

中位の創造主 第15～第6評議会

- ・ 天の川銀河を含む宇宙を光の宇宙に変えるために地球をアセンションさせる。
- ・ この宇宙を光の多い宇宙にすることで闇に落ちた創造主を一掃して光の創造主によって宇宙を統治する。
- ・ 私達の宇宙を「愛で統一された宇宙」と統合して愛の度数が高い宇宙に進化させる。

物理世界に近い 創造主 第5～第1評議会

- ・ 地球をアセンションさせることで、闇が多い地球と光の地球を分離して天の川銀河を光の銀河にする。
- ・ 闇の創造主の影響をなくし、光の創造主が進化できる宇宙を創るために光の宇宙と闇の多い宇宙を分離する。
- ・ 太陽種族を産み出すことで天の川銀河のスターピープルを統合し未来の宇宙を守る。

スターピープル

- ・ 地球人を光が多い人と少ない人に分離し光の地球を生み地球人を進化させる。
- ・ 太陽種族を産み出し、スターピープルの統合を行い更なる進化を遂げ、宇宙の危機を乗り越える。
- ・ 地球や各地にとらわれていたスターピープルやフェアリーの仲間達を救出する。

地球人

- ・ 地球人として目覚め、スターピープルへの道を歩むことで、太陽種族を産み出す基盤を作る。
- ・ 光が強い人や愛の度数が高い人をダークピープルや闇の創造主から守り、光の地球へ導く。
- ・ しかし、アセンションの事は全く知らず、ダークピープルや闇の創造主によって騙され支配されている。

光りの世界の区分（極秘事項）

○光の世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれていることをお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようなようです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしいことが起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つけることではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり、心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切なことは、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

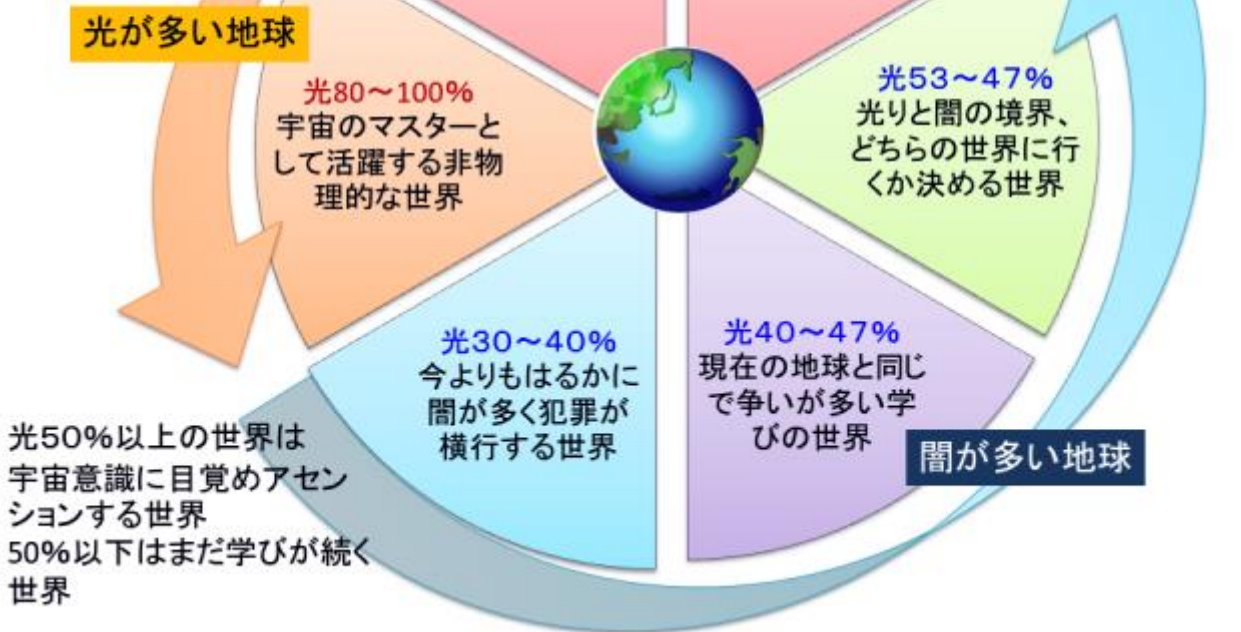
生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始めることでしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこのことは、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。
 学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。



光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
 50%以下はまだ学びが続く世界

<p>光90%台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働くことを喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きていることを深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由に平和な者にするために常に努力してきた人々。 この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。 人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%台の世界 物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。 またスターピープルのことを深く知り、彼らと共に働ける人。 自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p>

	<p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。 現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。 60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来ることが多いようです。</p>
<p>光60%台の世界 地球では光の世界として新しく生まれた世界。 宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・ 常に正義と愛のために生きてきた人。 欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。 スターピープルのことを理解し上手に付き合うことができる人 この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人達が入る世界。 少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。 ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・ 光の世界にはいる為の教育が行われる世界。 地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。 周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。 この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光56%～59%の世界 光が多い学びの世界 光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。 今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。 この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人達です。 そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。 この世界の学びは「愛の実践」です。 宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕することがこの世界の学びとなります。 この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争うことが好きな人は入れません。 人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>

<p>光 5 1 % ~ 5 5 % の世界 光と闇の境界の世 界</p> <p>光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p> <p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。</p> <p>また他人のために役に立ちたいと思い行動している人や他人に親切にすることが好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様なことを乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。</p> <p>ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行くこととなります。</p>
<p>光 4 0 % ~ 5 0 % の世界 現在の地球と同じ学びの世界</p> <p>光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験することとなります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をしたくない人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配しようと思う人、他人に依存したり、他人支配されることを好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光 3 0 % 台の世界 闇が多い学びの世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送ることになるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つことになると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つけることを好んで行ってきた人達がいく世界になると思います。</p>